

七海  
菜三

九

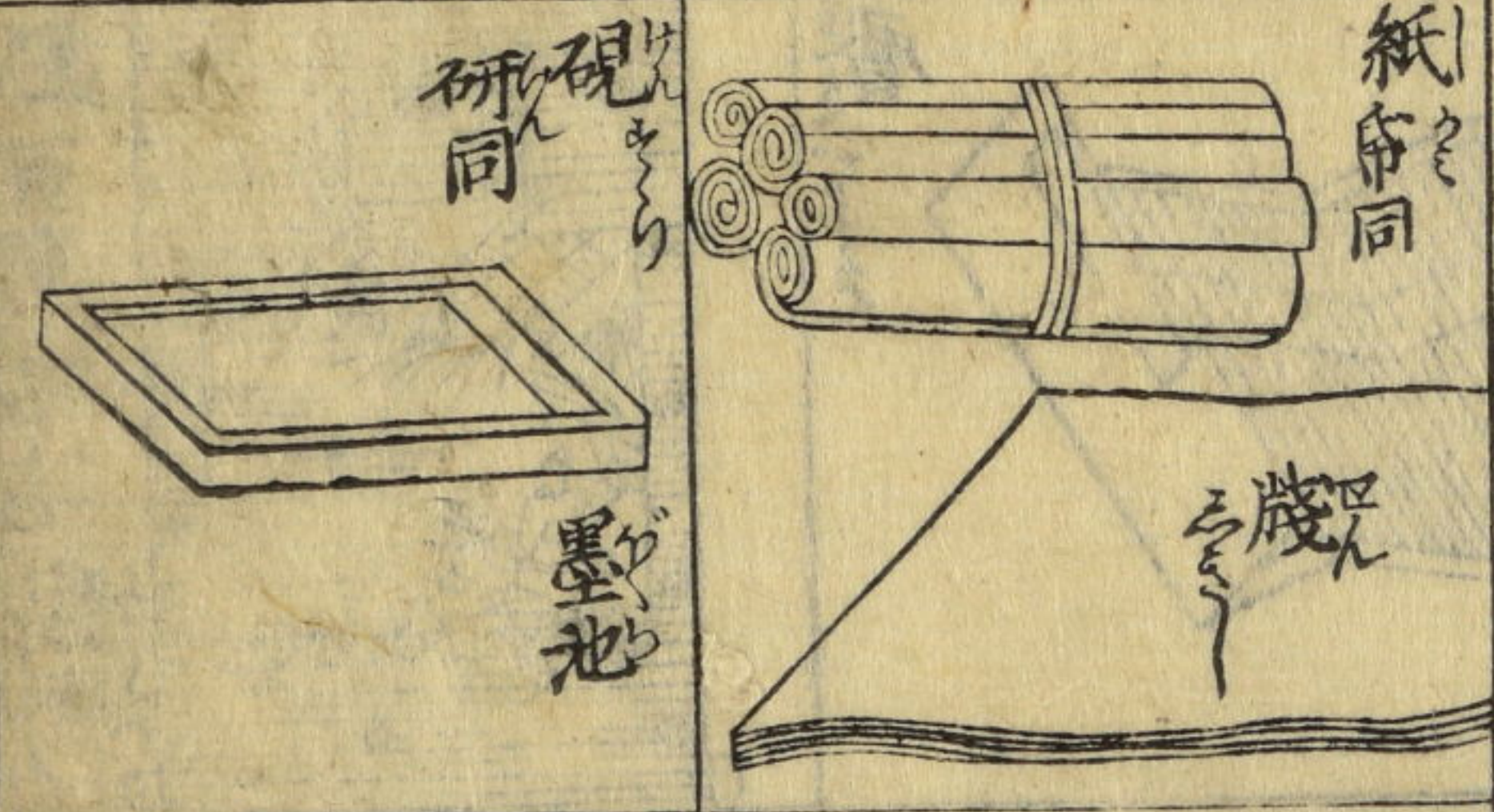


頭書増補刻蒙圖彙卷之八

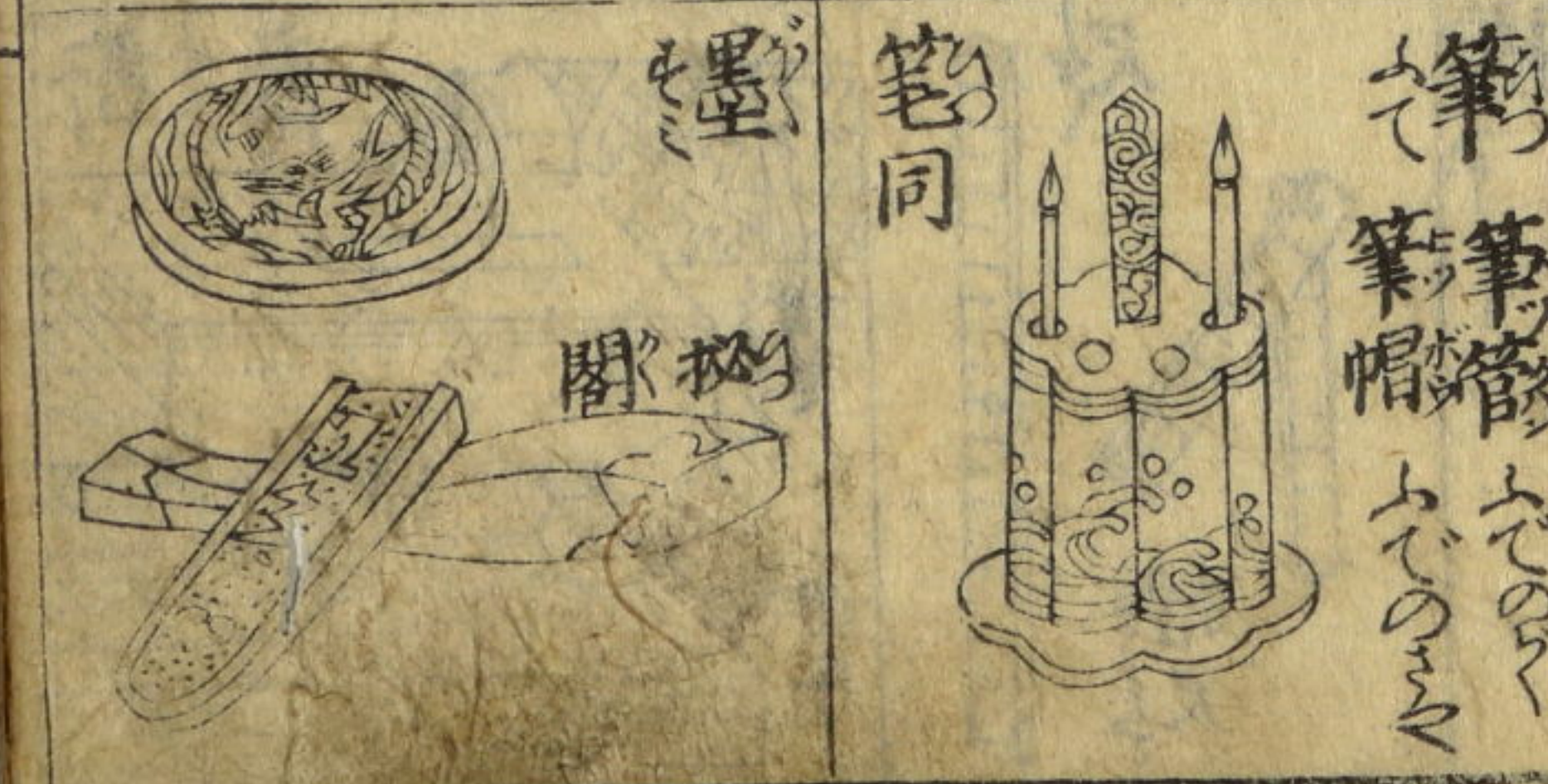
器用 部ハ其具農具その外  
用のつらふを記す



紙の楮の根は  
つる後漢の桑  
教仲とふ人  
沈うとふり  
ハ帛に物を  
ゆへ紙とふ  
糸をとり  
硯の黄帝の  
つらふとふ



筆の秦の蒙  
慨とふ人  
の功よ  
とふ子封  
て筆名  
管城子  
墨ハ煤子  
合つる油煙  
松煙あり  
つらふ







垣障相和  
竹管  
簫  
尺八

○簫の樂器なり  
竹管の長五尺  
はらへ風凰の翼  
ふくせんとて作り  
二十三管長五尺  
四寸小口の十六  
管長二尺二寸

○柷の木音あり  
中に柷ありとて  
うしろにをたてし  
うしろにをたてし  
うしろにをたてし

非鼓

○非鼓の軌と同  
樂器あり一名を  
柷鼓と云ふなり

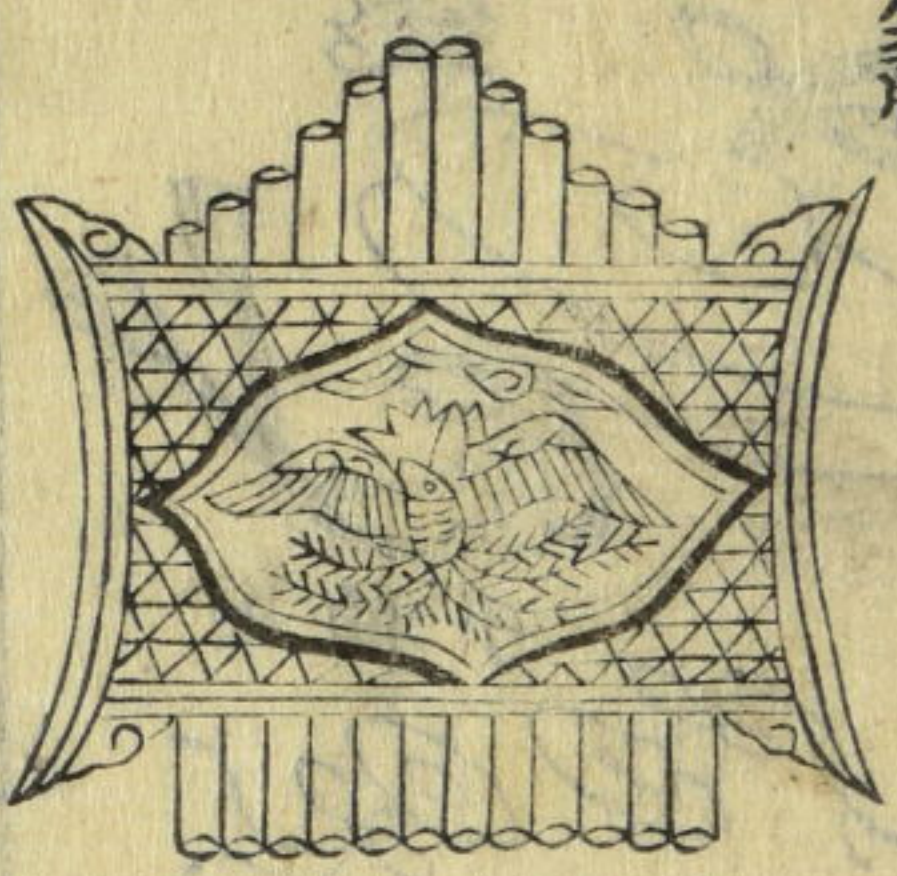
箏葉

○箏葉一名節  
管の末にあり  
胡人吹ててとて  
管の末にあり

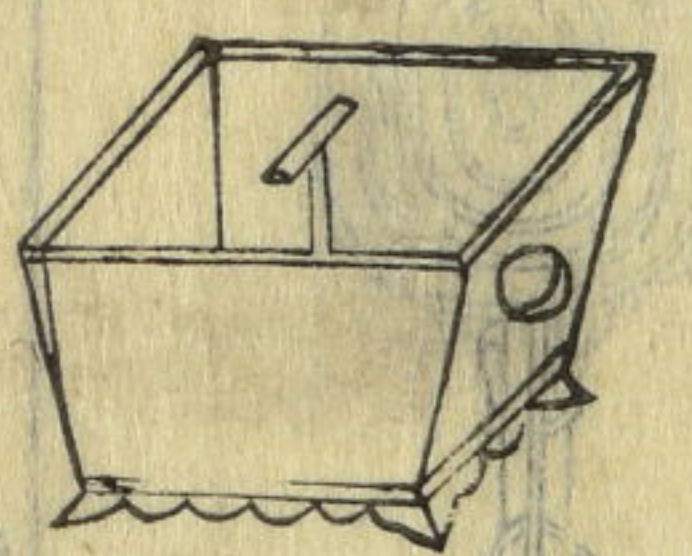
○琴のひょうの五十  
一ありとて  
琴のひょうの五十  
一ありとて

○琴のひょうの五十  
一ありとて  
琴のひょうの五十  
一ありとて

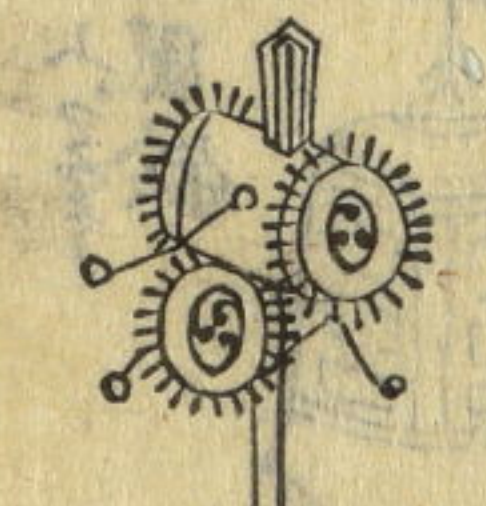
簫



柷



非鼓



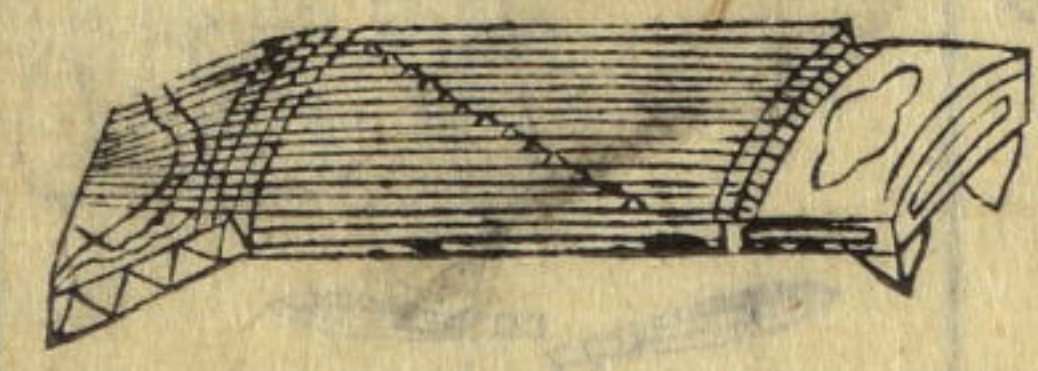
箏葉



琴



琴



簫

○簫の遠同式  
尺八の竹を  
とれつろりとし  
日本に之を天香  
久の乃竹を

○塙ハ土を  
をれを流し  
孔ありてこれ  
く樂器なり

鼓

○鼓の大鼓  
樂器なり

敵

○敵の木虎  
をん本をりて  
をん本をりて

○箏の葉の樂  
器なり  
一尺五寸  
の長に十三  
二三四五弦  
を中とら

尺八



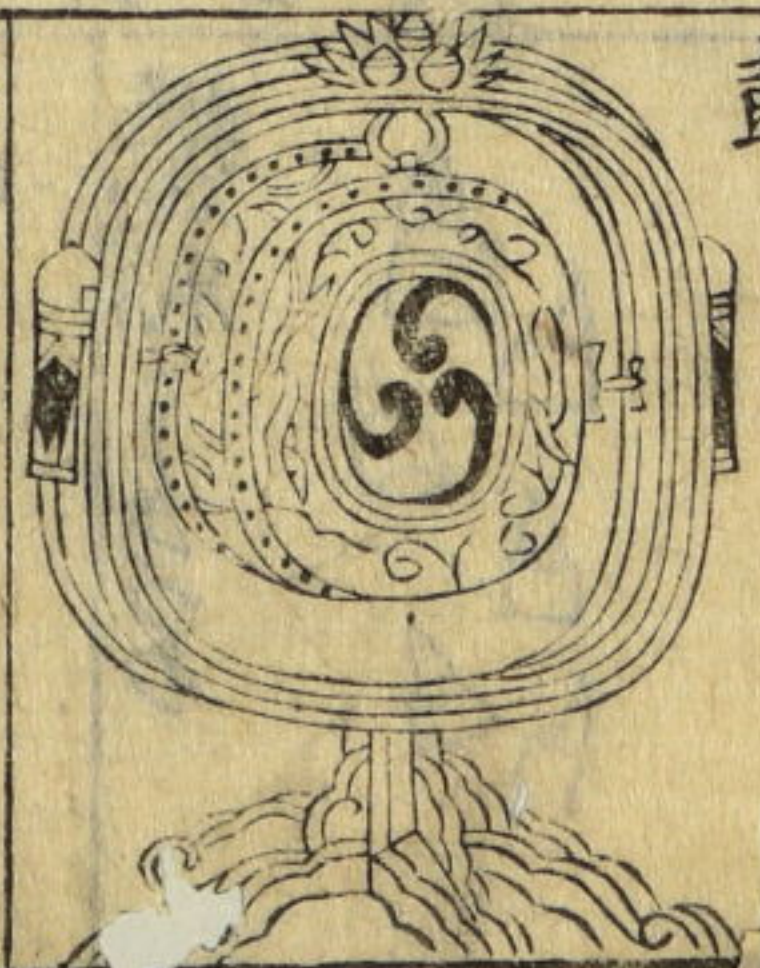
塙



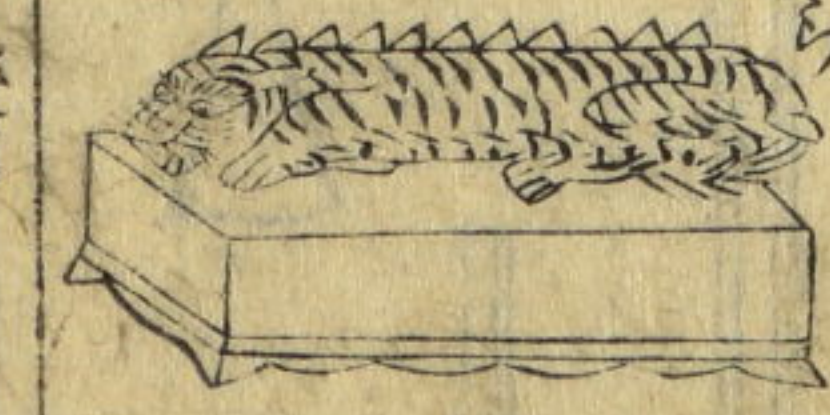
簫



鼓



敵



箏



此種の琴は  
方々人々  
の琴柱

○琴柱の轉め  
あり琵琶よも  
五三味線ふも  
琴にあり

柱  
こしら

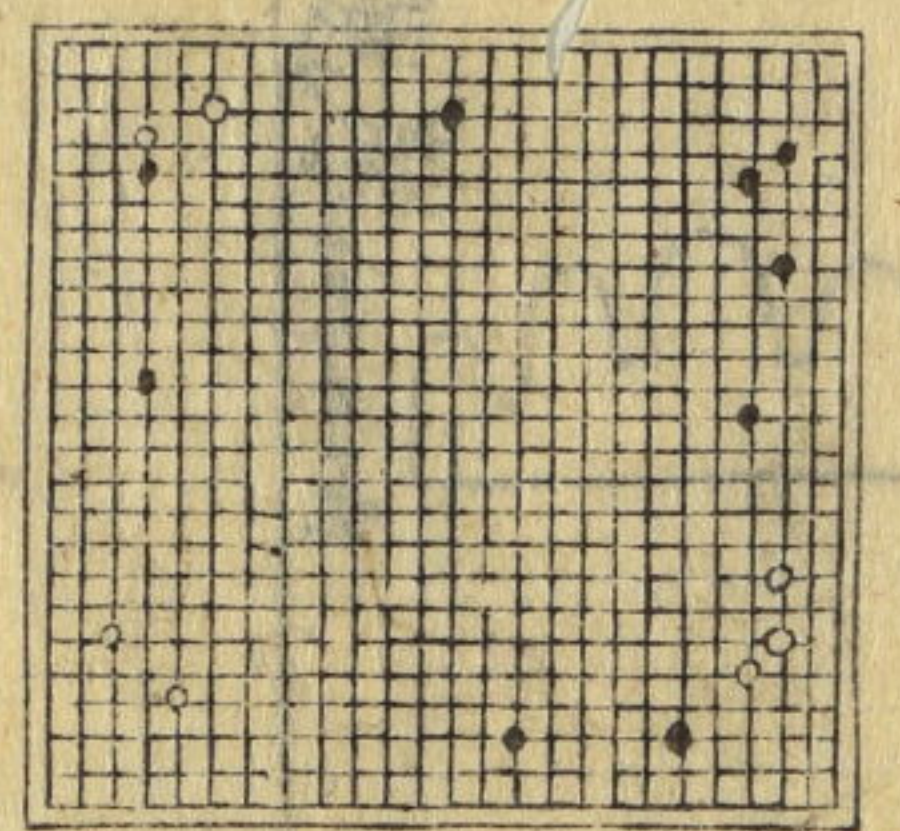
○柱の琵琶は  
柱とより琴  
はくことごと  
くあり

○阮咸は四絃十  
柱ありは五絃  
十三柱あり  
阮咸同

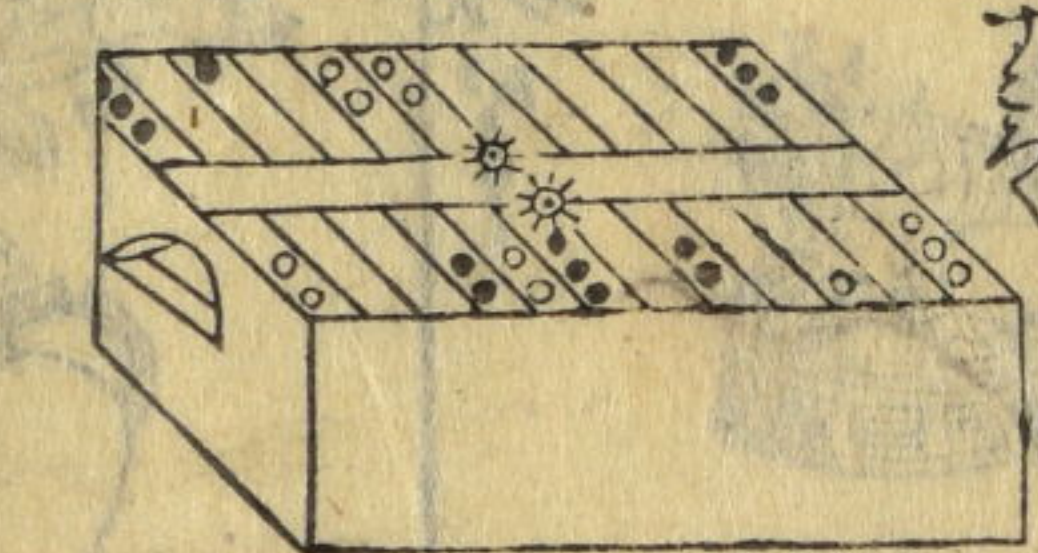
阮咸

○基の堯のつら  
はくことごと  
くあり

基



六采  
まごのこ

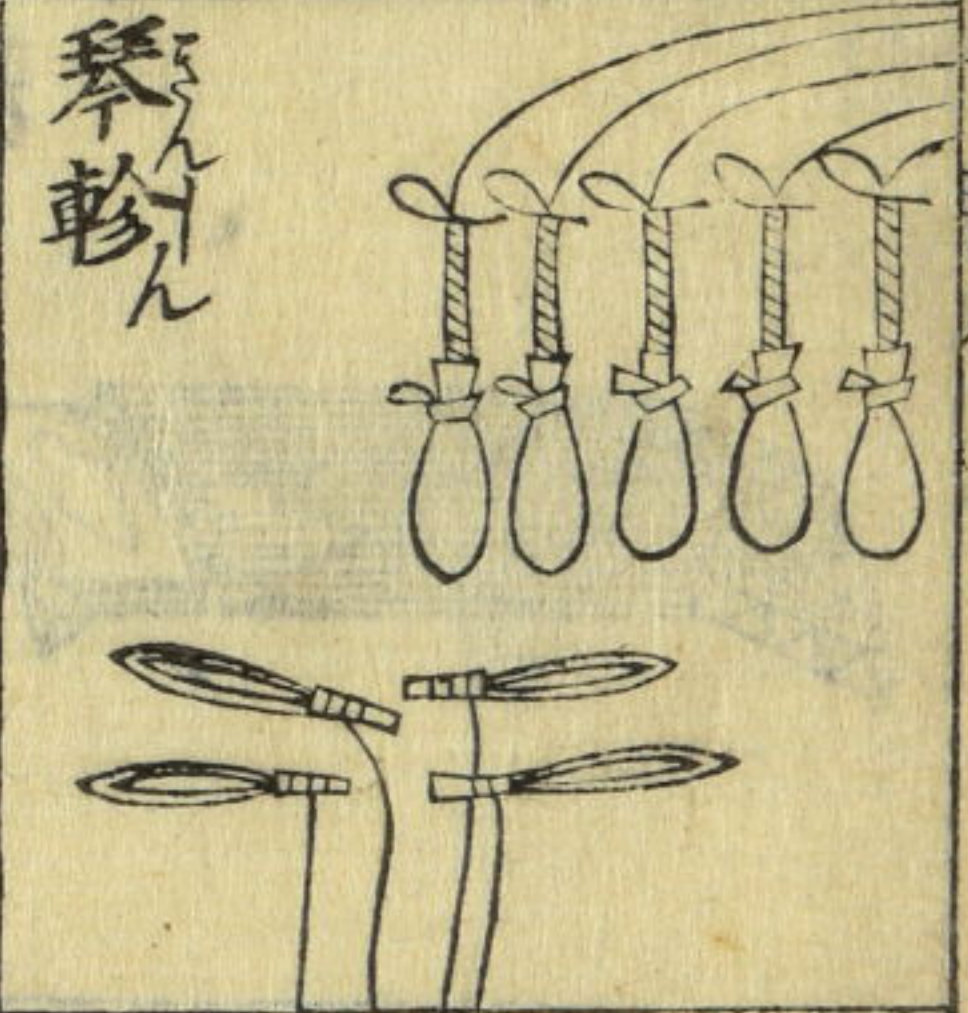


碁箱

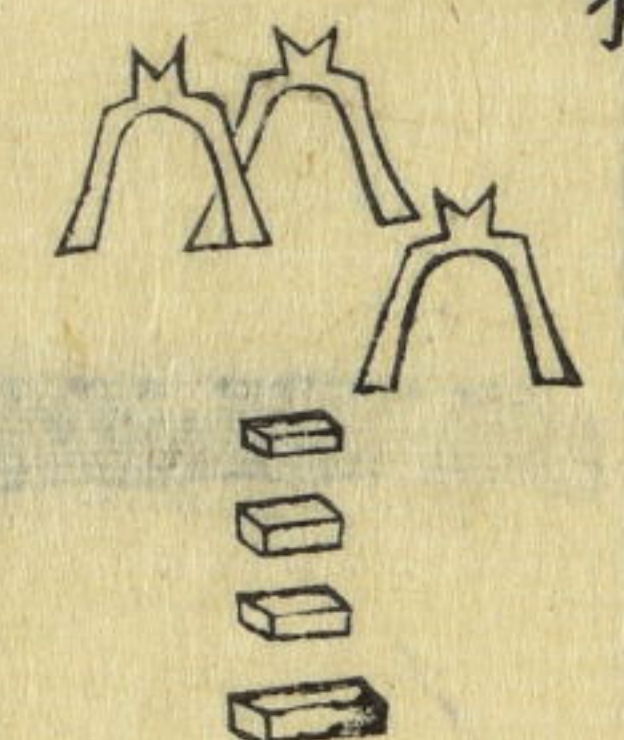


碁子

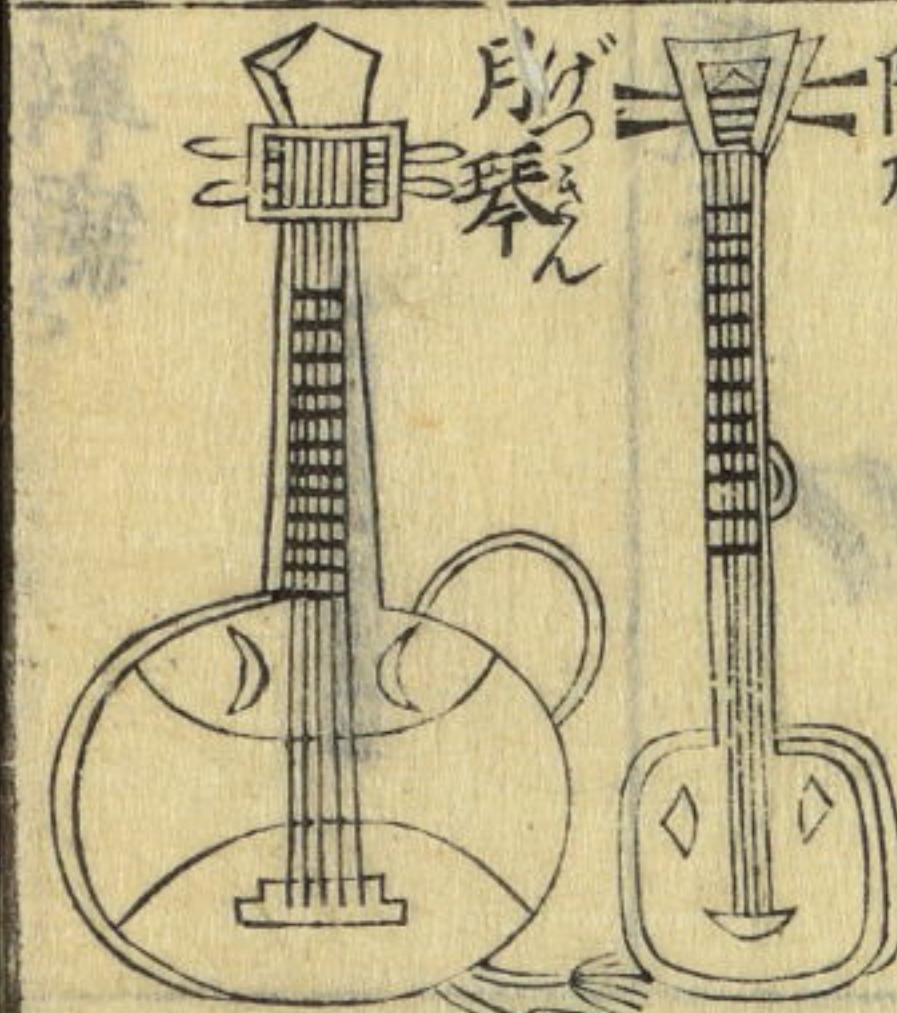
○碁の日月の二  
はくことごと  
くあり



琵琶



阮咸



琵琶

○琵琶の長三尺  
五寸四絃ありは  
逆鼓と名を  
よぶなり順鼓と  
名をよぶなり胡  
琴の玉昭君は  
漢の王昭君は

撥

○琵琶の撥三味  
線の撥羯鼓の  
撥と名をよぶ  
なり

○假面は今の  
舞の面は代面  
能の面は代面  
能の面は代面  
能の面は代面  
能の面は代面

假面

○此杖は麻姑と  
名をよぶ麻姑と  
名をよぶ麻姑と  
名をよぶ麻姑と  
名をよぶ麻姑と  
名をよぶ麻姑と

杖

○秤は碁盤に  
又碁盤の目と  
碁盤の目と碁  
盤の目と碁盤  
の目と碁盤の  
目と碁盤の目  
と碁盤の目と

秤

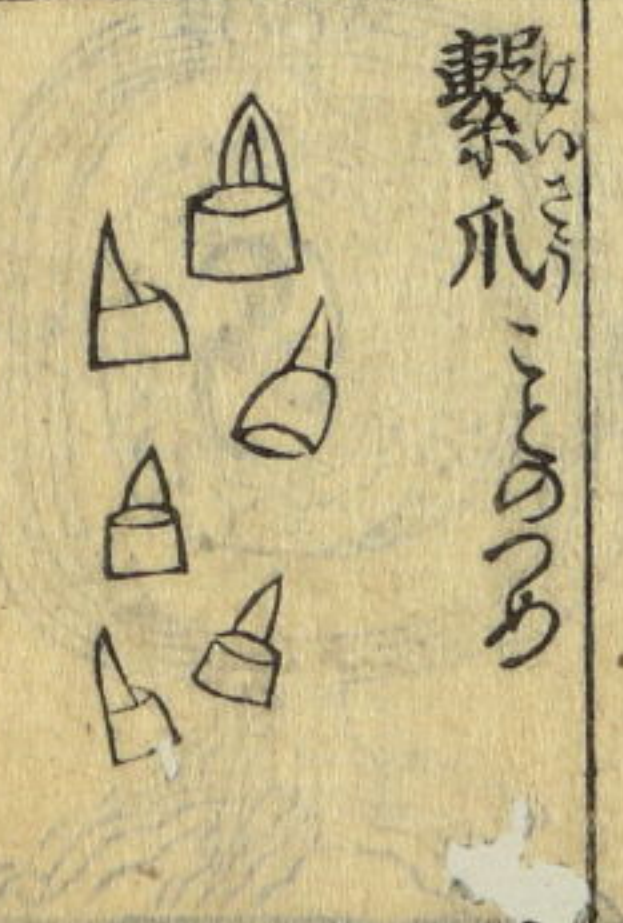
○碁の日月の二  
はくことごと  
くあり



琵琶



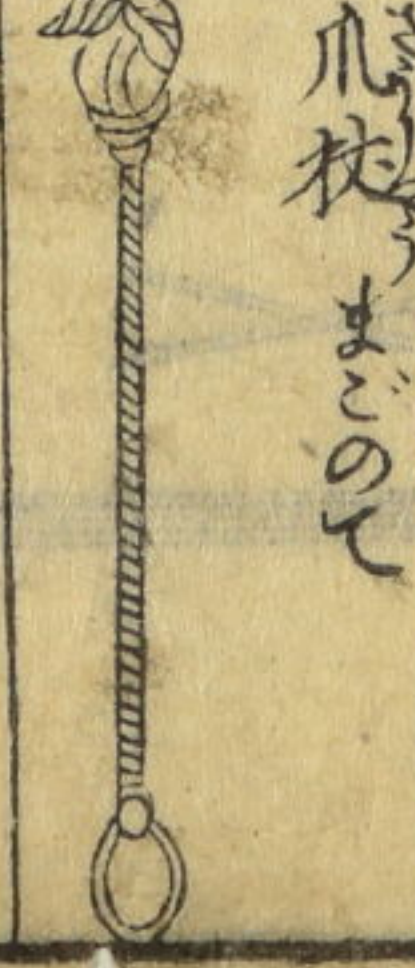
阮咸



琵琶

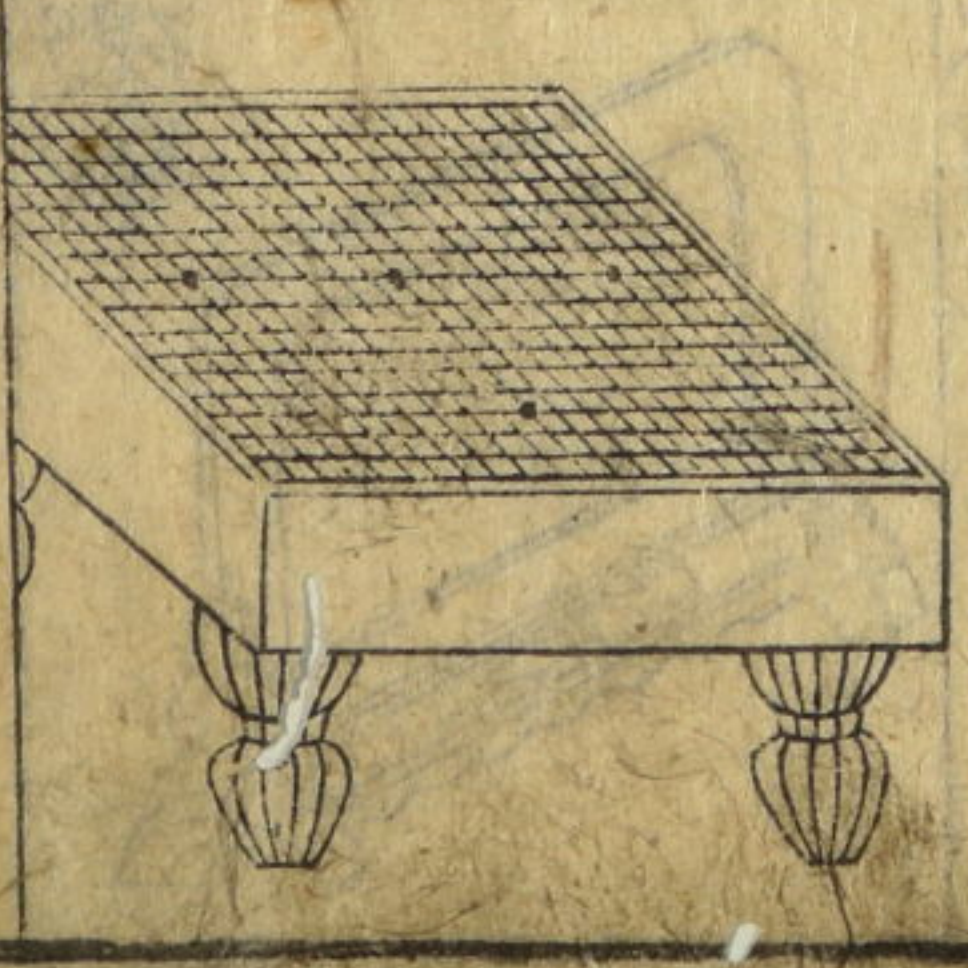


假面



杖

秤



碁箱

水滴の硯

○水滴の硯の  
このつきのあり玉  
鑑除くともいふ  
又硯滴ともいふ



水滴  
びん

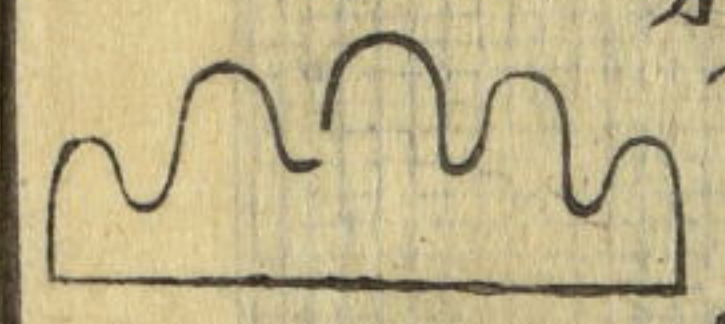
書鎮

○書鎮の風  
と此の書あつて  
又鎮しも歴書  
ともいふ



筆架

○筆架の筆  
筆架は又筆格  
筆架筆山ともいふ



香爐

○香爐の薫  
又の香昇香瓶  
香瓶かこの香を  
まろり香炉



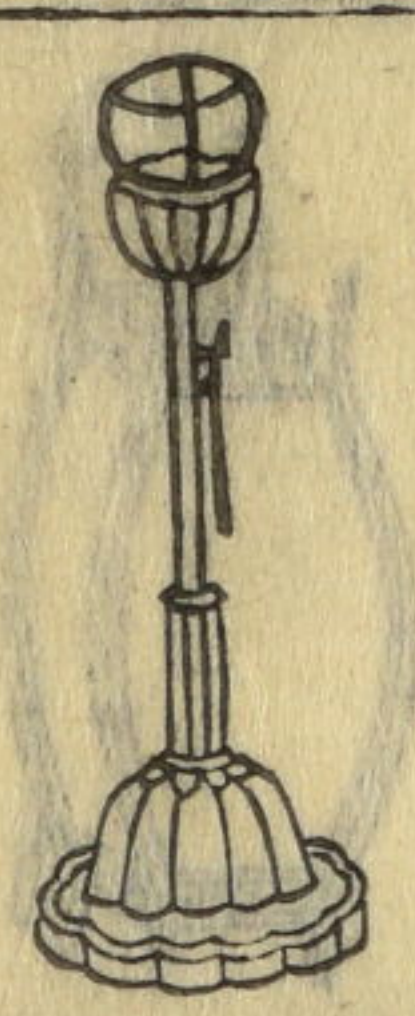
燈籠

○燈籠の燈籠  
又の燈籠ともいふ  
又燈籠ともいふ



燈檠

○燈檠の長檠  
又の短檠あり  
又燈檠ともいふ



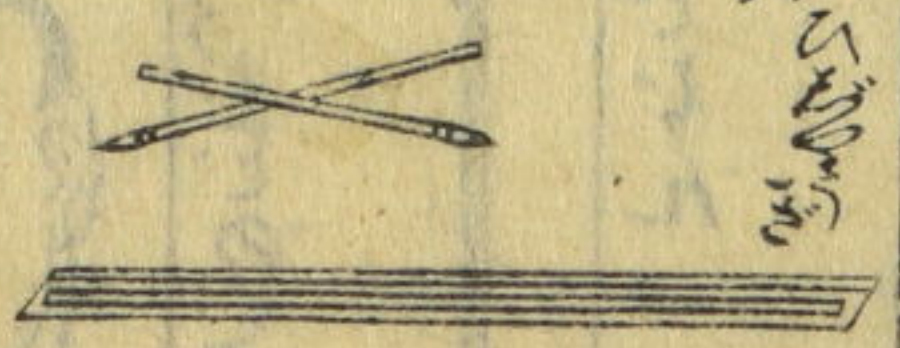
○硯屏の硯の  
ひふまのつら屏  
風あり硯の墨を  
風にかはせま  
り又塵を  
けり



硯屏

界方

○界方の今  
挿す本あり



界方

歴尺

○歴尺の卦  
具足の草摺と  
卦笥といふ  
かしの卦



歴尺

香毬

○香毬の丸  
と香毬といふ  
香毬の丸  
と香毬といふ



香毬

燭奴

○燭奴の丸  
と燭奴といふ



燭奴

燭臺

○燭臺の丸  
と燭臺といふ



燭臺

イボタラシ  
疣取蠟  
効アリ故名  
蟬ト云虫

提燈

○提燈ハ今  
挑灯あり懸火  
ト云ふ

挑燈

○九を倍ハ酸漿  
挑灯ト云  
挑灯ト云  
挑灯ト云

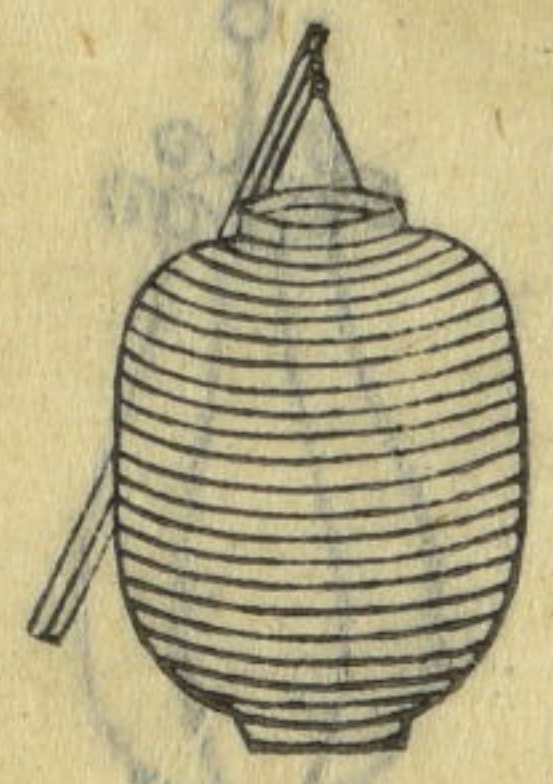
蠟燭

○蠟燭ハ油  
ト云ふ  
銀管馬り  
朱  
蠟燭あり

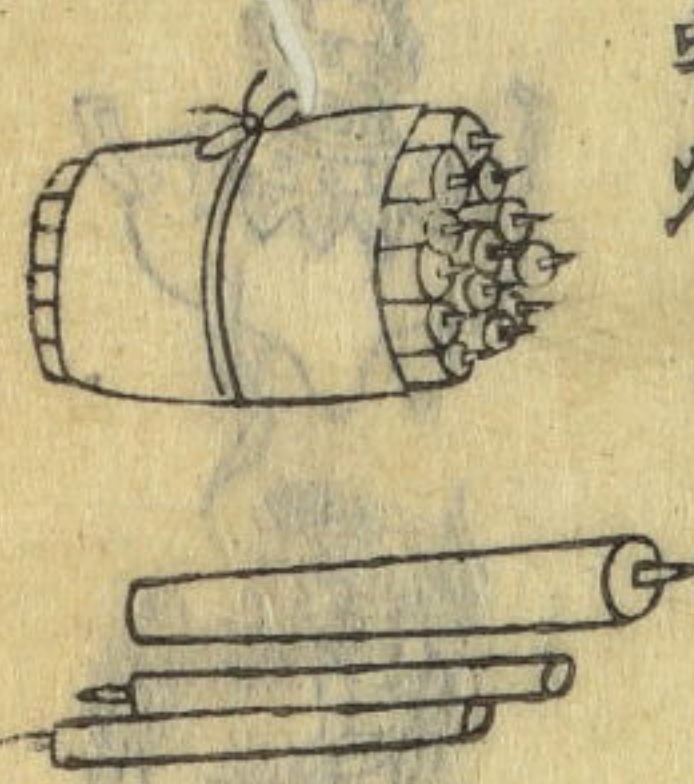
提燈



挑燈



蠟燭



方燈

○方燈ハ今  
行燈あり四方  
ありハ  
綱あり張ゆ  
紙筆ト云ふ  
燭剪

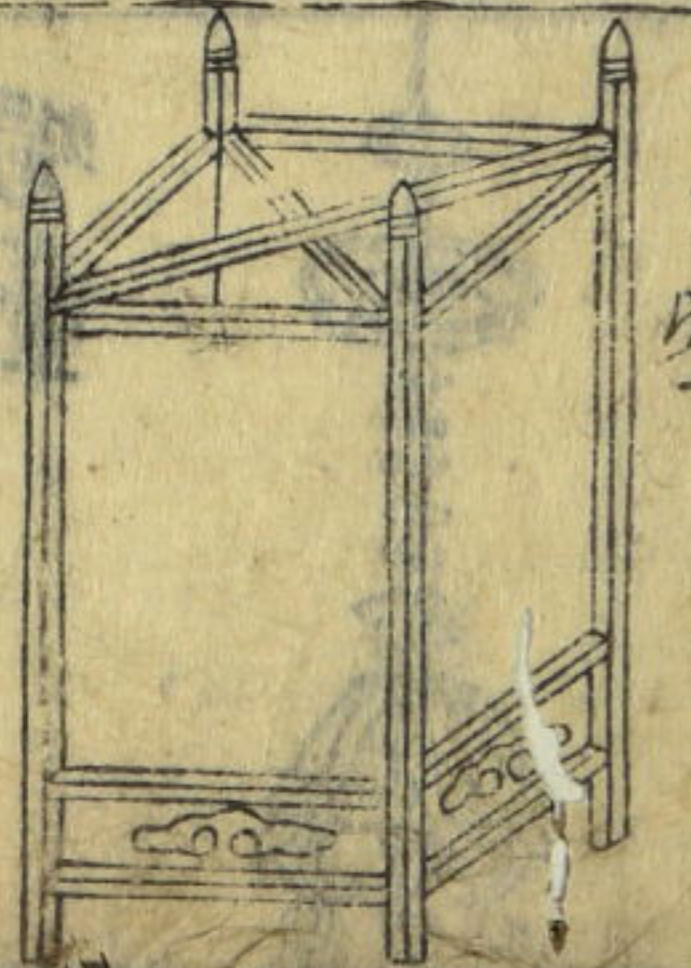
燭剪

○燭剪ハ今  
えんきり

燈

○燈ハ今  
燈臺あり  
燈心ハ  
燈花ハ

方燈



燭剪



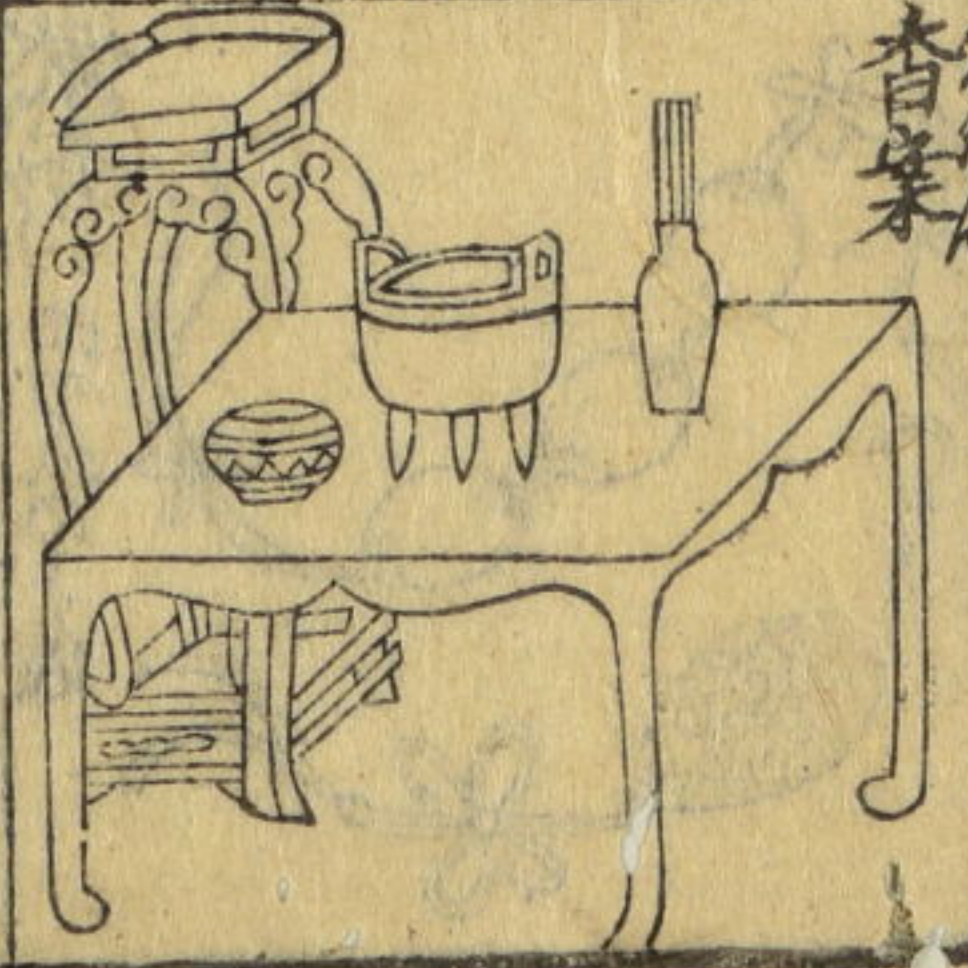
燈



香案

○香案ハ今  
卓あり又  
香几  
ト云ふ

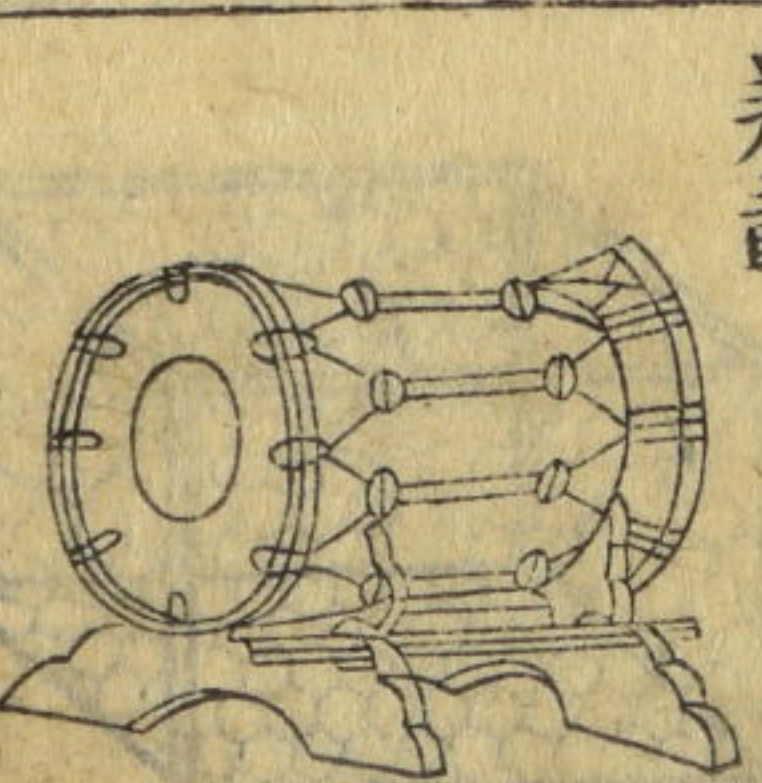
香案



羯鼓

○羯鼓ハ樂器  
唐の玄宗  
りて花を催  
ト云ふ

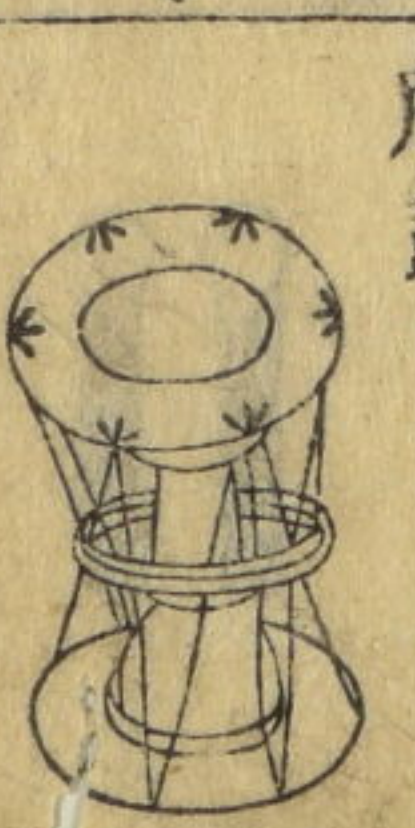
羯鼓



腰鼓

○腰鼓ハ腰前  
に掛りて  
ト云ふ

腰鼓



香盒

○香盒ハ香  
ト云ふ  
漆盒  
金銀  
銅  
ト云ふ

香盒



筋瓶

○筋瓶ハ  
ト云ふ  
筋瓶  
ト云ふ

筋瓶



香餅

○香餅ハ今  
炭固あり又  
餅ト云ふ  
ト云ふ

香餅





○線香の線は  
とろとろの線は  
香りの塩香とも  
いふ南条より香

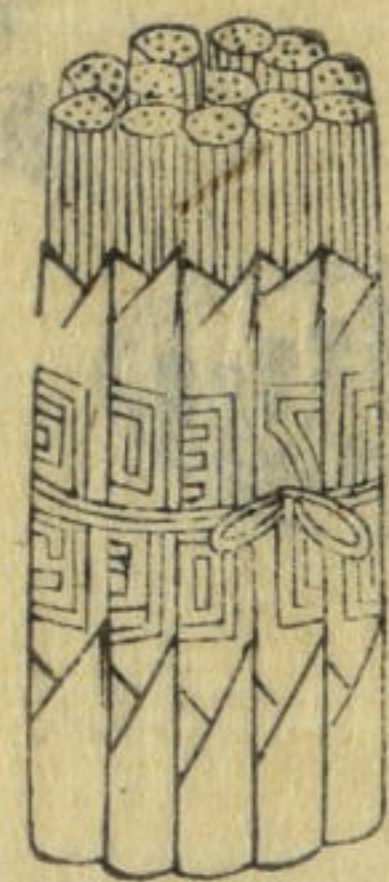
銅鉢

○銅鉢の僧家  
にの磬といふこ  
んの唐音あり

風鐸

○風鐸の寶鐸  
あり又檜鐸とも  
いふ堂の檜とも

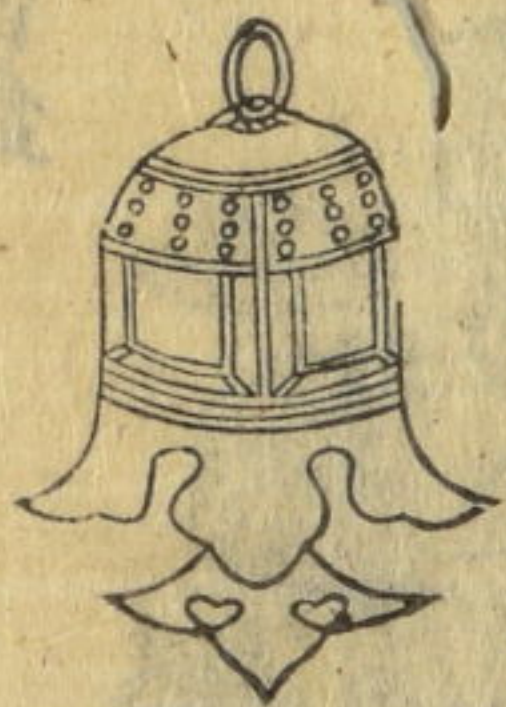
線香



銅鉢



風鐸



抱

抱の火の袋の  
棒とさへ  
撥の琵琶三味線  
乃しらかり  
薫籠

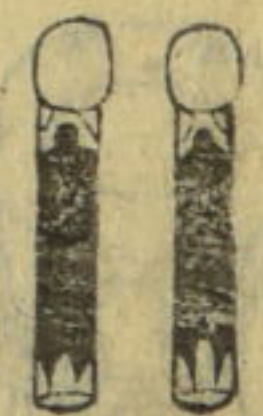
薫籠

○薫籠の今  
く色こり又火  
籠と衣篝とも  
いふ

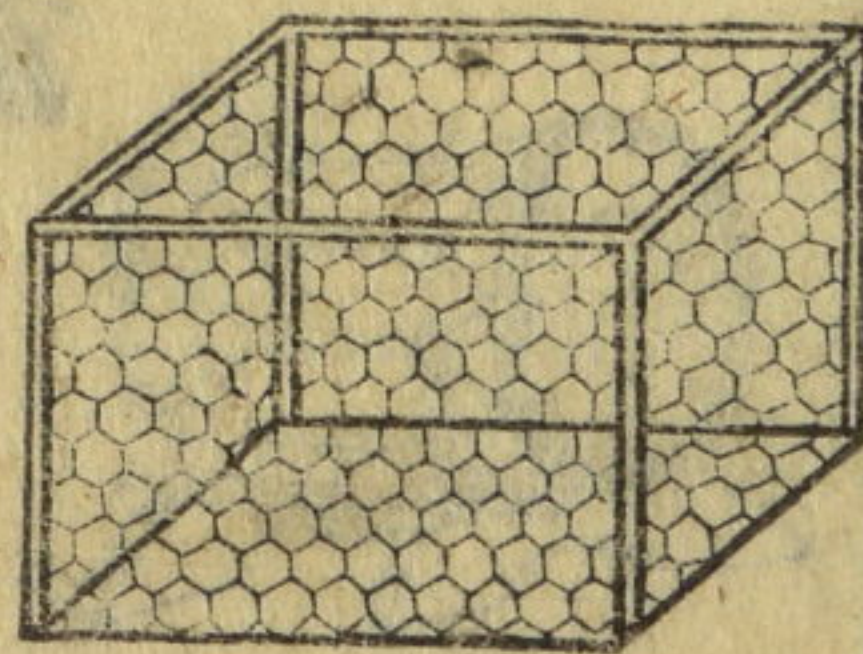
佩香

○佩香の今  
にのの玉の腰  
あがりとも  
香囊にいふ

抱



薫籠



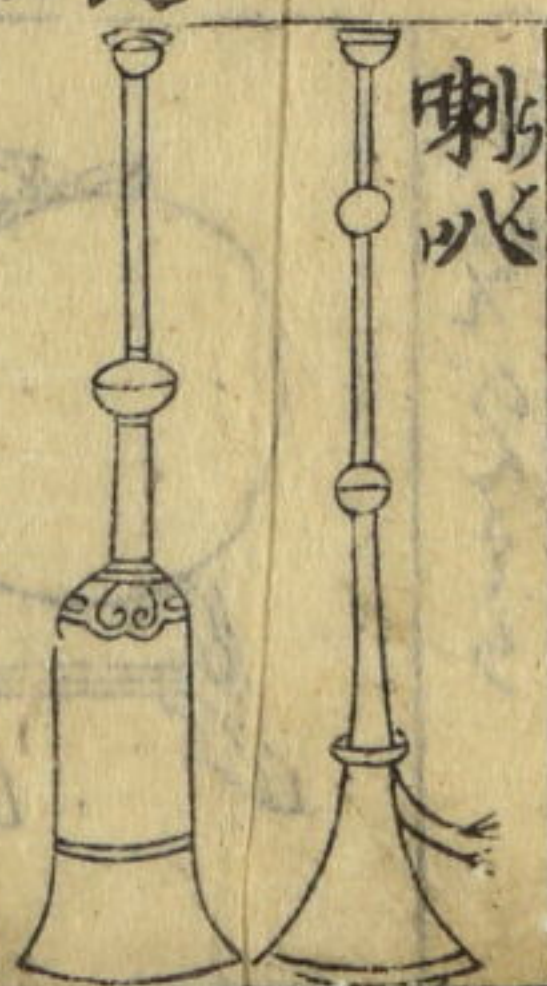
佩香



噴

○噴の火平簫  
といふあり噴  
哪嶽の味い同  
刺

刺



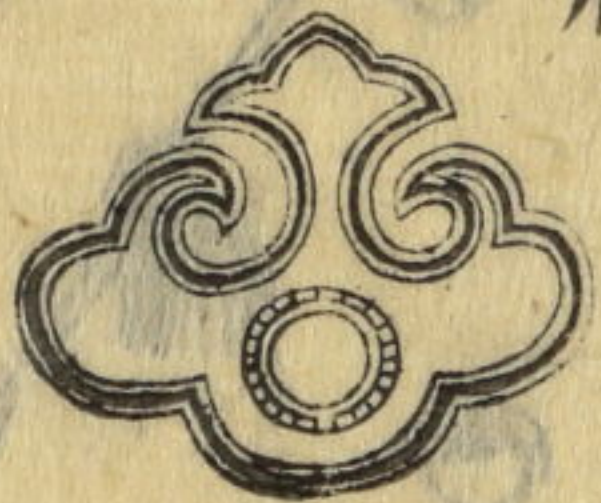
油瓶



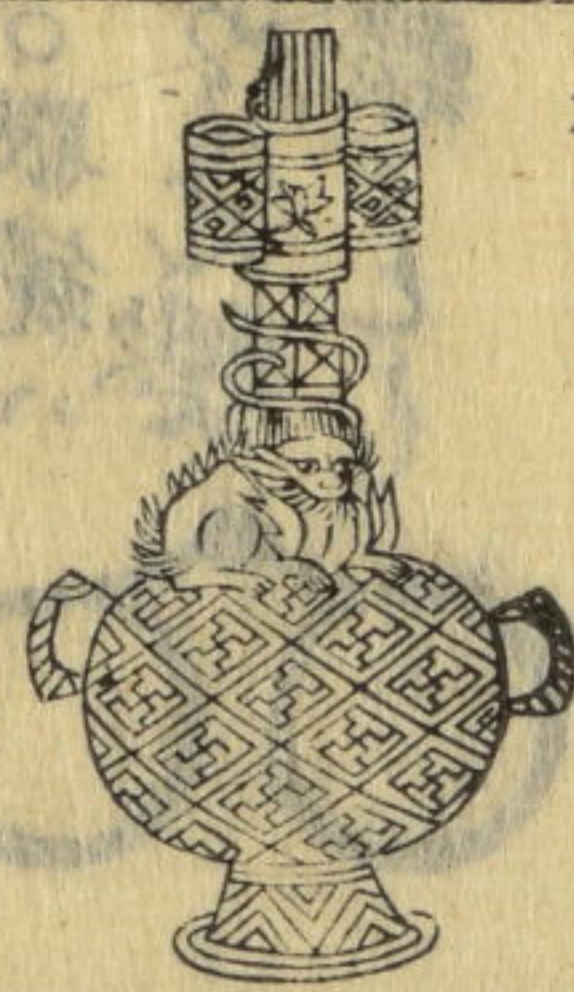
煙火



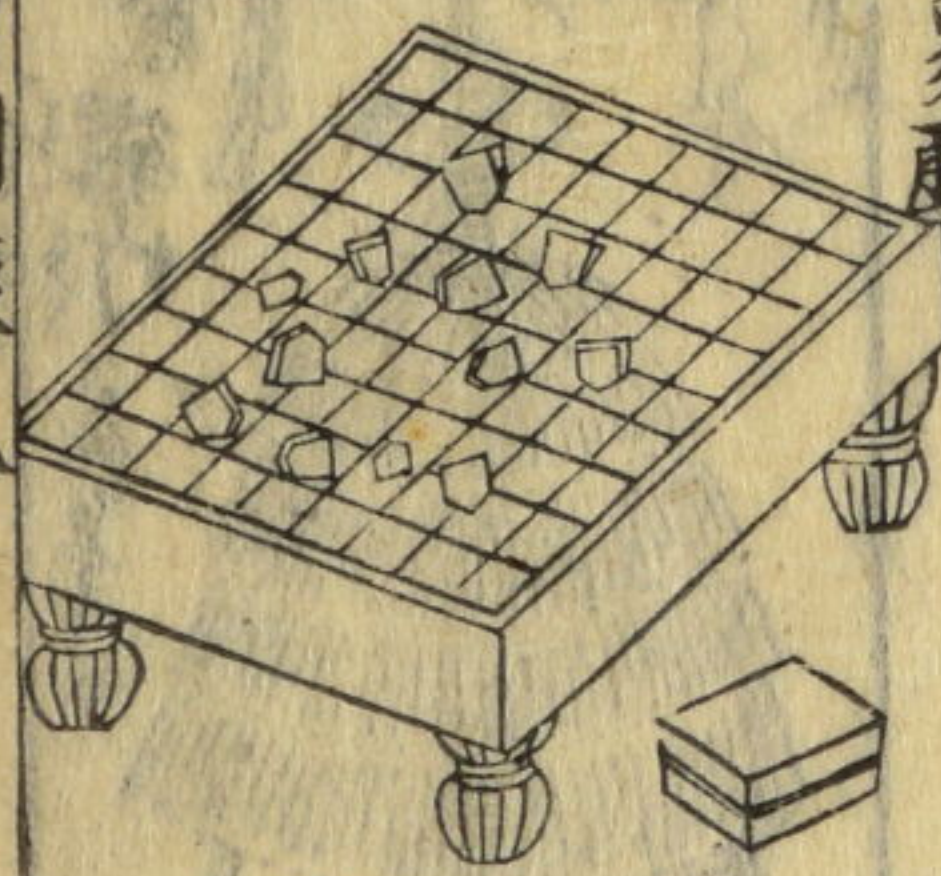
雲版



投壺



象戯



○投壺の  
の射法多し壺  
に知とあげつそ  
あり  
象戯  
○象戯の周  
且つらり出して成  
るにそへあり  
大中のの棋  
又摩訶陀象戯  
といふもわり



頭書增補訓蒙圖彙卷之九

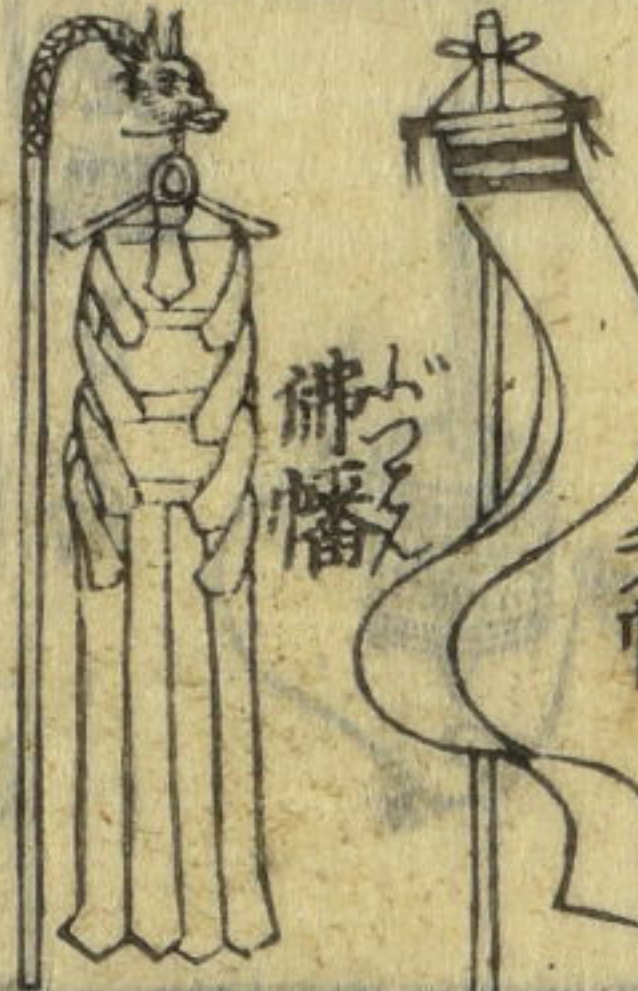
器用 註前より

○幡の兵家

○源家の白  
○平家の紅  
○木色橋家の黄  
○ありそのやうな家

○毒霧の鳥線に  
○首にあり黄  
○帝のとら云々

幡  
兵幡



幢

○幢の懸る旗  
旗のよきへは楚に  
の情しり開の東  
西の幢とらふ

○銅雀幢  
銅雀のつらう  
ありは幢少く  
ゆくとらふ  
ありは雀のよき

羽潔幢



○爵の兜蓋し

○黄帝これな  
つくとら  
教あり何鞠冒とら

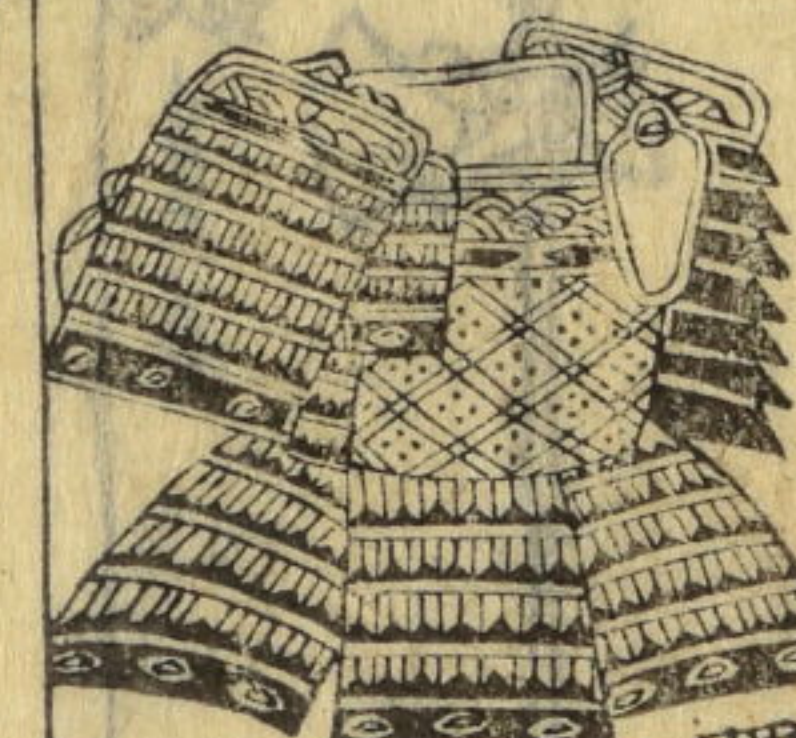
○鑑の金物の十三不  
上府上巻矢返志  
加の録木一乃録  
再幣付等しく  
包そありゆり故  
具豆とらふ

○鎗の應仁文明の  
比ありつら  
震はく黄帝其元  
とらふのつら

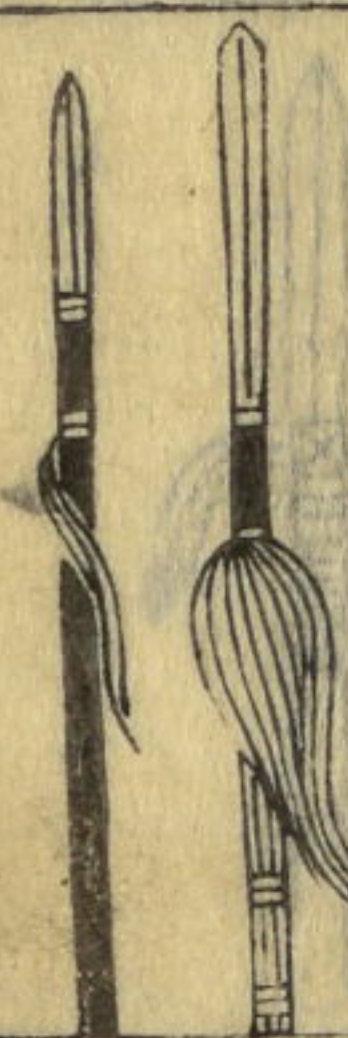
○首鑑頭盛同



鑑  
甲冑  
腰甲



鎗



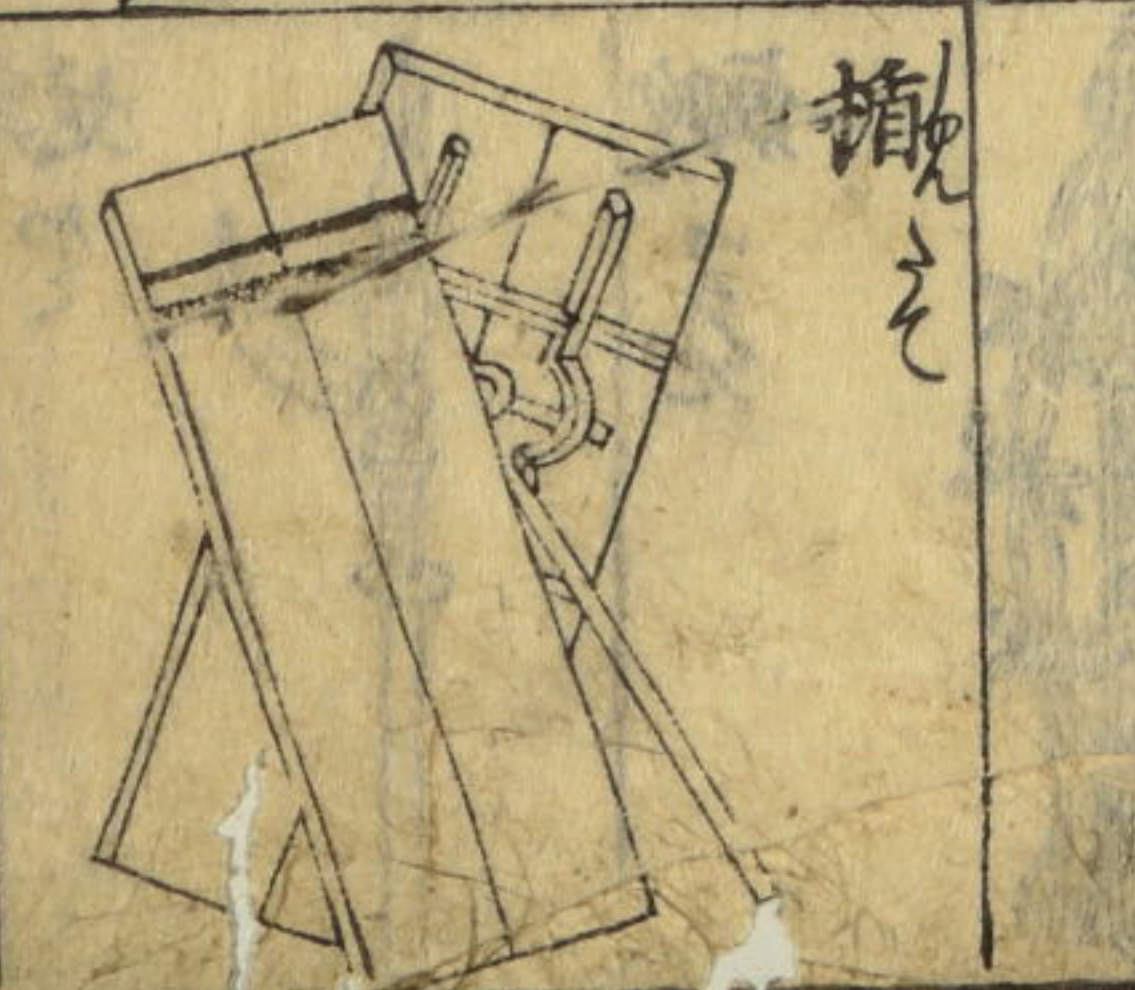
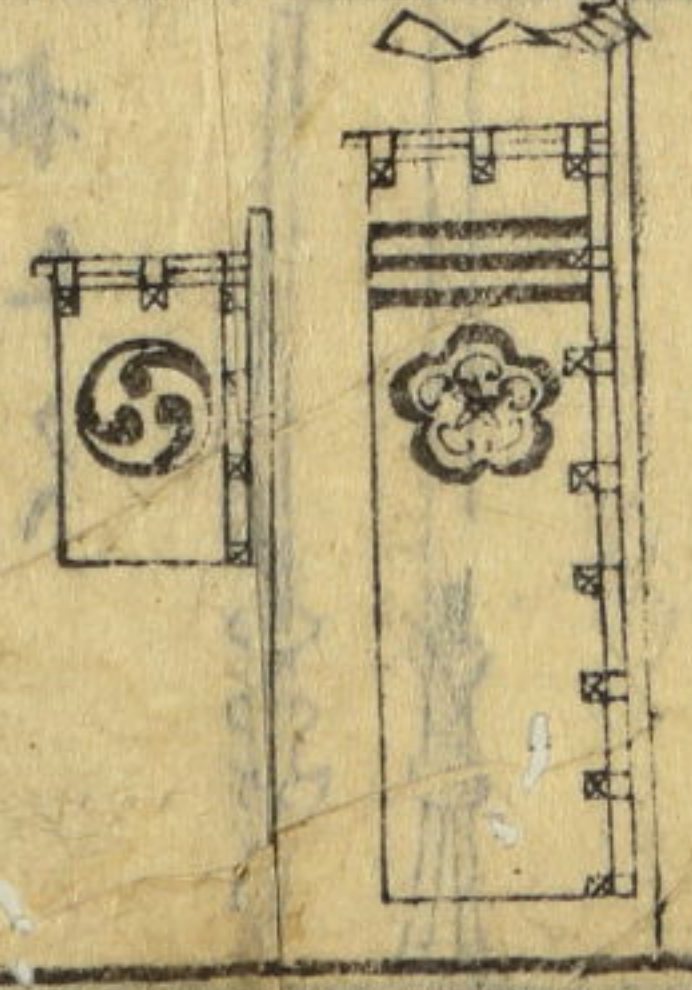
旗

○旗のよき  
あり黄帝に  
あり軍ねの  
ありは織  
ありは流

○鉾のよき  
ありは二丈  
ありは三丈  
ありは四丈  
ありは五丈

○楯の板木樟木  
等とらふ  
ありは三  
ありは四  
ありは五  
ありは六  
ありは七  
ありは八  
ありは九  
ありは十

旗



○戦の刃(さき)は、一と二と三と四と五と六と七と八と九と十と十一と十二と十三と十四と十五と十六と十七と十八と十九と二十と二十一と二十二と二十三と二十四と二十五と二十六と二十七と二十八と二十九と三十と三十一と三十二と三十三と三十四と三十五と三十六と三十七と三十八と三十九と四十と四十一と四十二と四十三と四十四と四十五と四十六と四十七と四十八と四十九と五十と五十一と五十二と五十三と五十四と五十五と五十六と五十七と五十八と五十九と六十と六十一と六十二と六十三と六十四と六十五と六十六と六十七と六十八と六十九と七十と七十一と七十二と七十三と七十四と七十五と七十六と七十七と七十八と七十九と八十と八十一と八十二と八十三と八十四と八十五と八十六と八十七と八十八と八十九と九十と九十一と九十二と九十三と九十四と九十五と九十六と九十七と九十八と九十九と百と



鉞(きりぎりす)



○鉞(きりぎりす)の柄(え)は、ありとの重(かさ)八(や)なり、柄(え)大(おほ)なり



○鉞(きりぎりす)の柄(え)の、鉞(きりぎりす)ありとの重(かさ)八(や)なり、柄(え)大(おほ)なり、柄(え)の、鉞(きりぎりす)ありとの重(かさ)八(や)なり、柄(え)大(おほ)なり

鐔(たがひ)

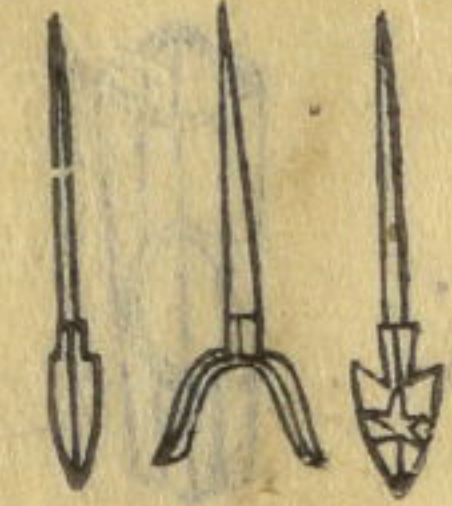


矢(や)マ



鉞(きりぎりす)

○鉞(きりぎりす)の柄(え)は、ありとの重(かさ)八(や)なり、柄(え)大(おほ)なり



戟(き)

○戟(き)の柄(え)は、一と二と三と四と五と六と七と八と九と十と十一と十二と十三と十四と十五と十六と十七と十八と十九と二十と二十一と二十二と二十三と二十四と二十五と二十六と二十七と二十八と二十九と三十と三十一と三十二と三十三と三十四と三十五と三十六と三十七と三十八と三十九と四十と四十一と四十二と四十三と四十四と四十五と四十六と四十七と四十八と四十九と五十と五十一と五十二と五十三と五十四と五十五と五十六と五十七と五十八と五十九と六十と六十一と六十二と六十三と六十四と六十五と六十六と六十七と六十八と六十九と七十と七十一と七十二と七十三と七十四と七十五と七十六と七十七と七十八と七十九と八十と八十一と八十二と八十三と八十四と八十五と八十六と八十七と八十八と八十九と九十と九十一と九十二と九十三と九十四と九十五と九十六と九十七と九十八と九十九と百と

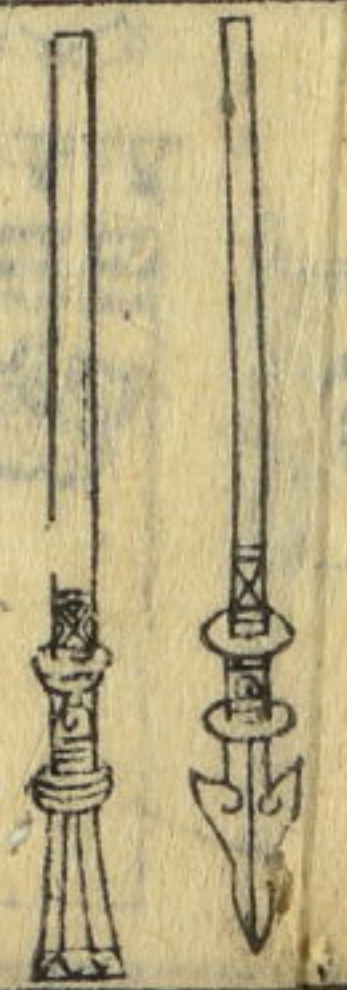


鉞(きりぎりす)



○鉞(きりぎりす)の柄(え)は、ありとの重(かさ)八(や)なり、柄(え)大(おほ)なり

柄(え)



刀(たがひ)

刀(たがひ)

○刀(たがひ)の柄(え)は、一と二と三と四と五と六と七と八と九と十と十一と十二と十三と十四と十五と十六と十七と十八と十九と二十と二十一と二十二と二十三と二十四と二十五と二十六と二十七と二十八と二十九と三十と三十一と三十二と三十三と三十四と三十五と三十六と三十七と三十八と三十九と四十と四十一と四十二と四十三と四十四と四十五と四十六と四十七と四十八と四十九と五十と五十一と五十二と五十三と五十四と五十五と五十六と五十七と五十八と五十九と六十と六十一と六十二と六十三と六十四と六十五と六十六と六十七と六十八と六十九と七十と七十一と七十二と七十三と七十四と七十五と七十六と七十七と七十八と七十九と八十と八十一と八十二と八十三と八十四と八十五と八十六と八十七と八十八と八十九と九十と九十一と九十二と九十三と九十四と九十五と九十六と九十七と九十八と九十九と百と

短(たがひ)



櫛(きりぎりす)

櫛(きりぎりす)

○櫛(きりぎりす)の柄(え)は、ありとの重(かさ)八(や)なり、柄(え)大(おほ)なり

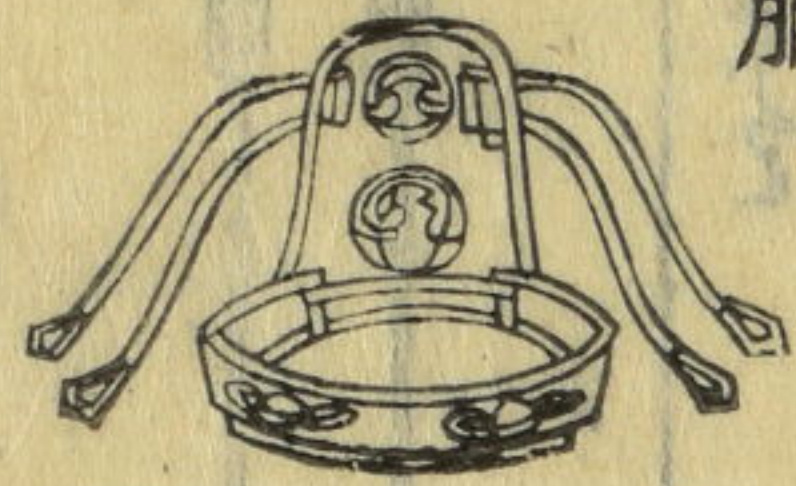


壺箠  
引矢とすもの  
ありては壺  
ありては壺  
ありては壺  
ありては壺



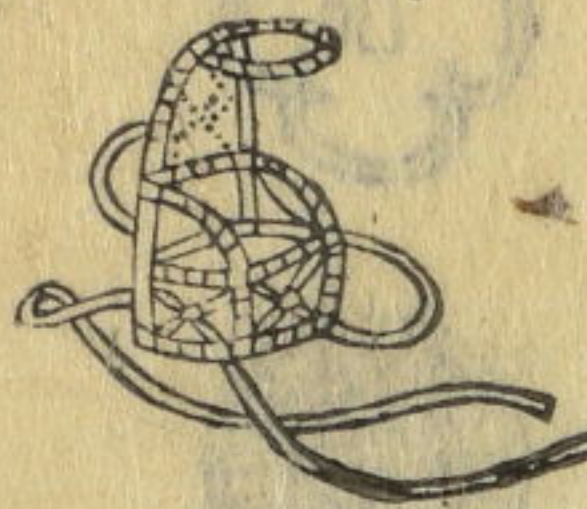
平箠  
平箠  
平箠  
平箠

箠  
箠  
箠  
箠



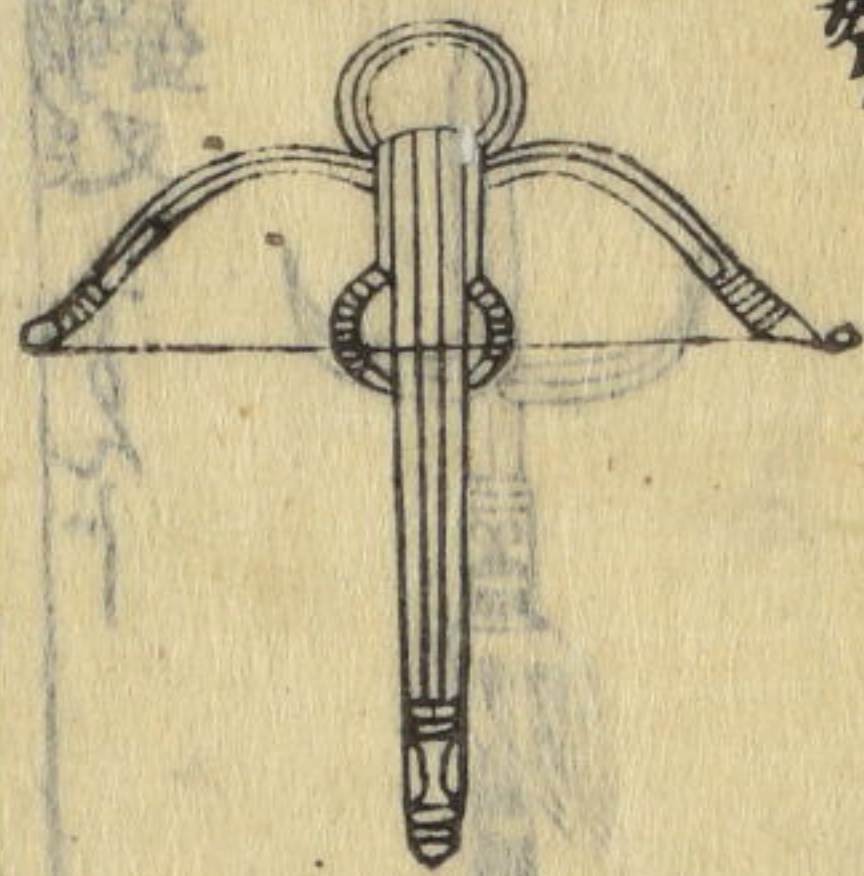
○箠の黄帝つく  
○箠の黄帝つく  
○箠の黄帝つく  
○箠の黄帝つく

箠  
箠



○箠の黄帝つく  
○箠の黄帝つく  
○箠の黄帝つく  
○箠の黄帝つく

箠  
箠



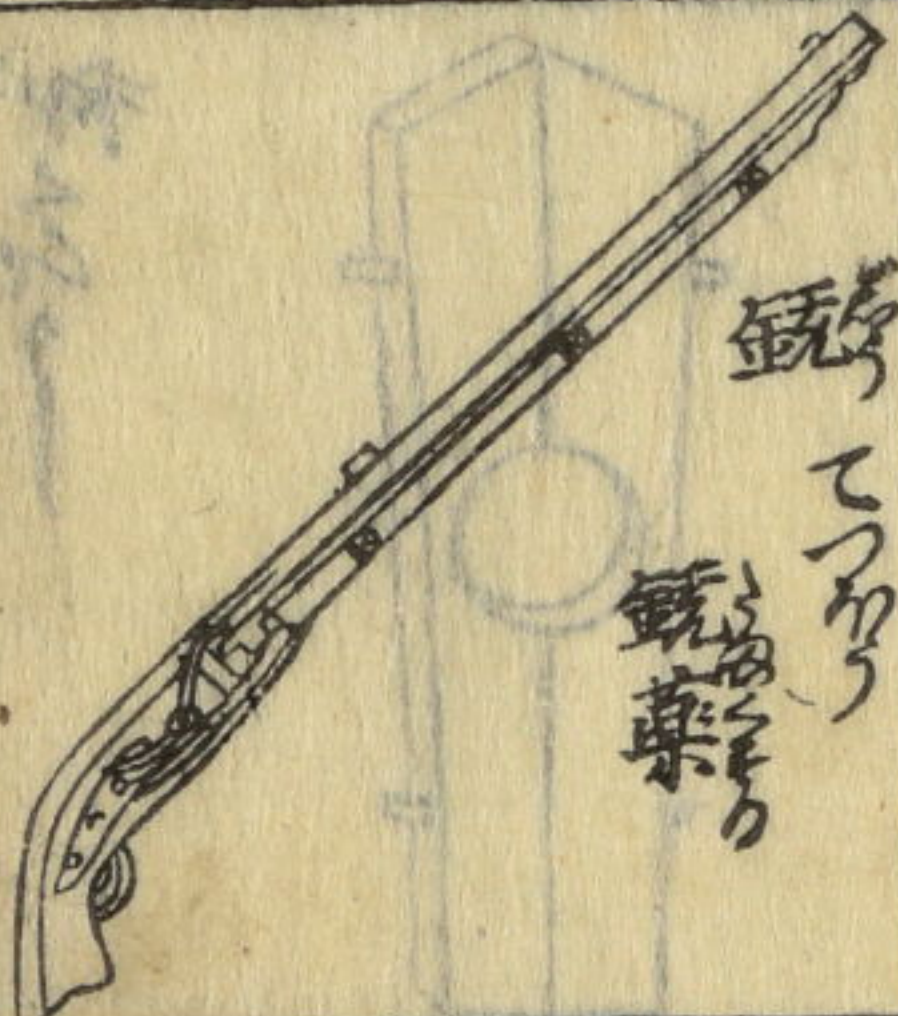
○箠の黄帝つく  
○箠の黄帝つく  
○箠の黄帝つく  
○箠の黄帝つく

箠  
箠



○箠の黄帝つく  
○箠の黄帝つく  
○箠の黄帝つく  
○箠の黄帝つく

箠  
箠



箠  
箠

○箠の黄帝つく  
○箠の黄帝つく  
○箠の黄帝つく  
○箠の黄帝つく

○箠の黄帝つく  
○箠の黄帝つく  
○箠の黄帝つく  
○箠の黄帝つく

箠  
箠

○箠の黄帝つく  
○箠の黄帝つく  
○箠の黄帝つく  
○箠の黄帝つく

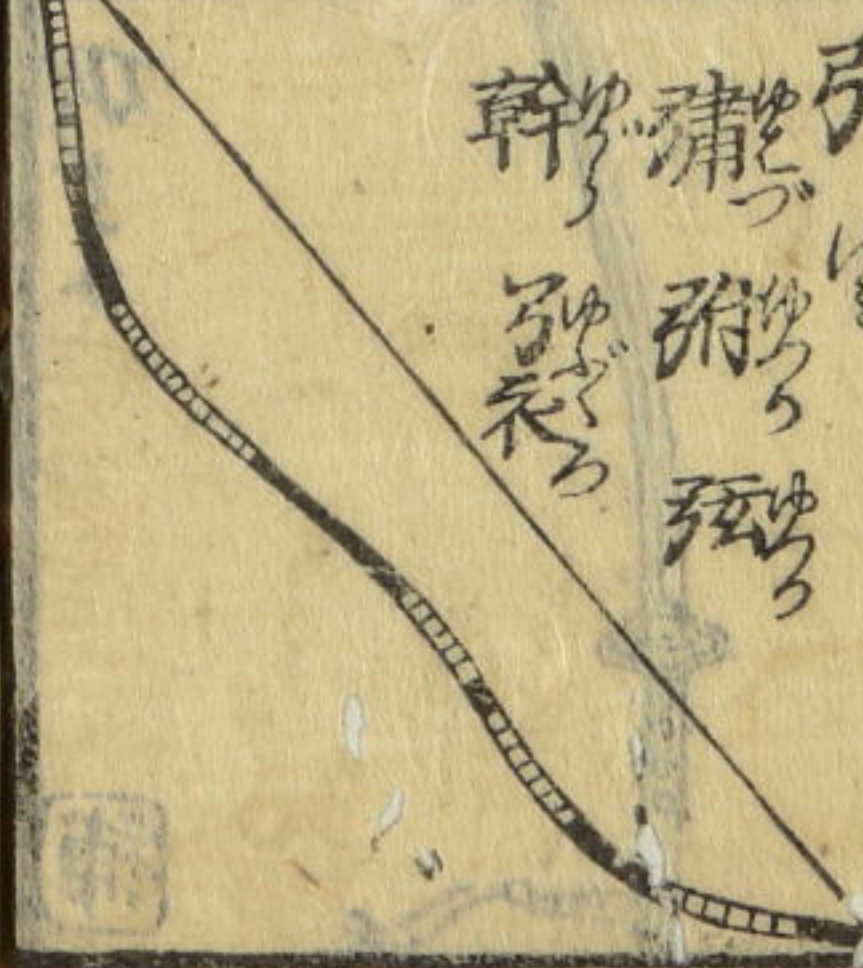
箠  
箠



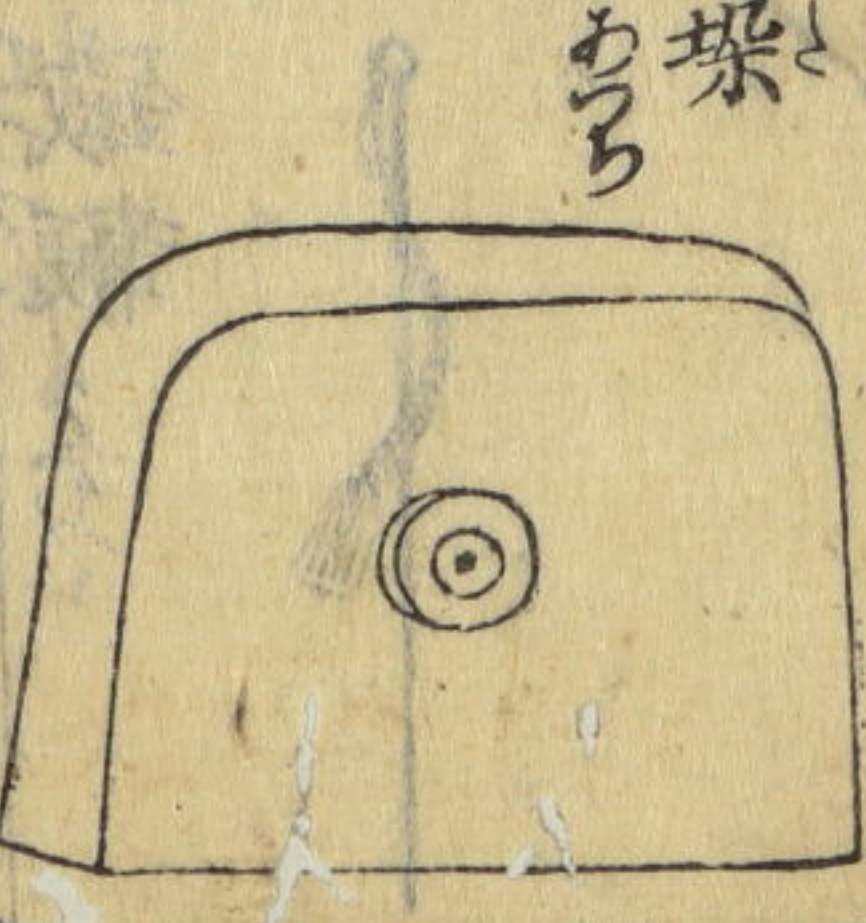
箠  
箠

○箠の黄帝つく  
○箠の黄帝つく  
○箠の黄帝つく  
○箠の黄帝つく

○箠の黄帝つく  
○箠の黄帝つく  
○箠の黄帝つく  
○箠の黄帝つく



箠  
箠



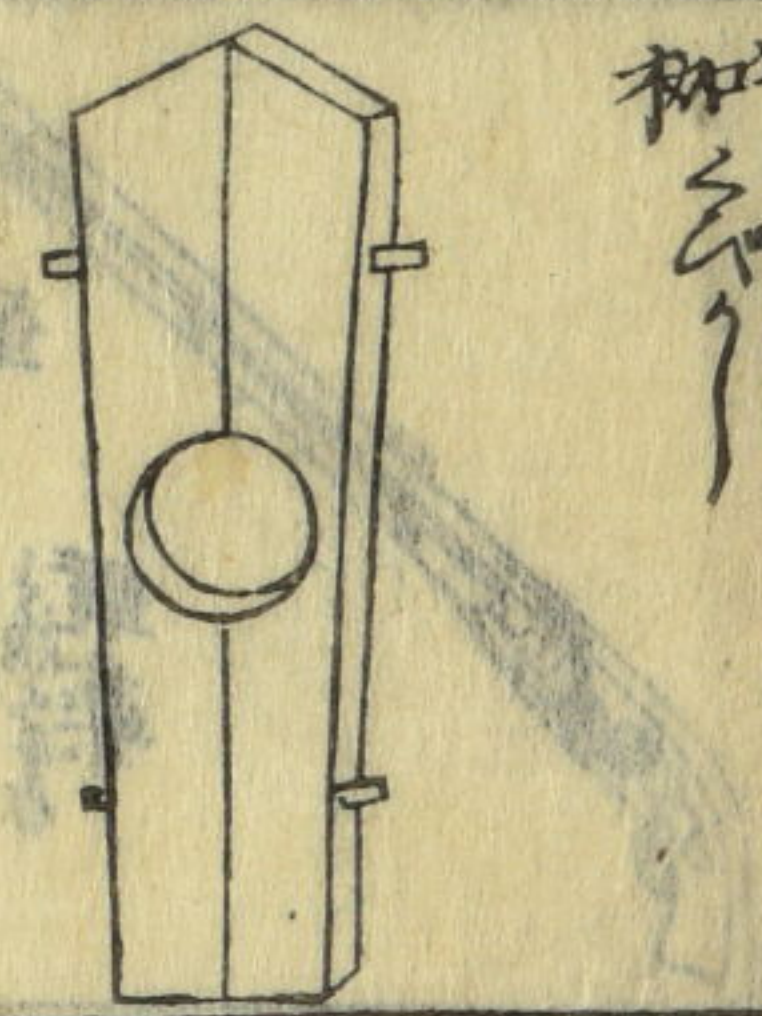
箠  
箠



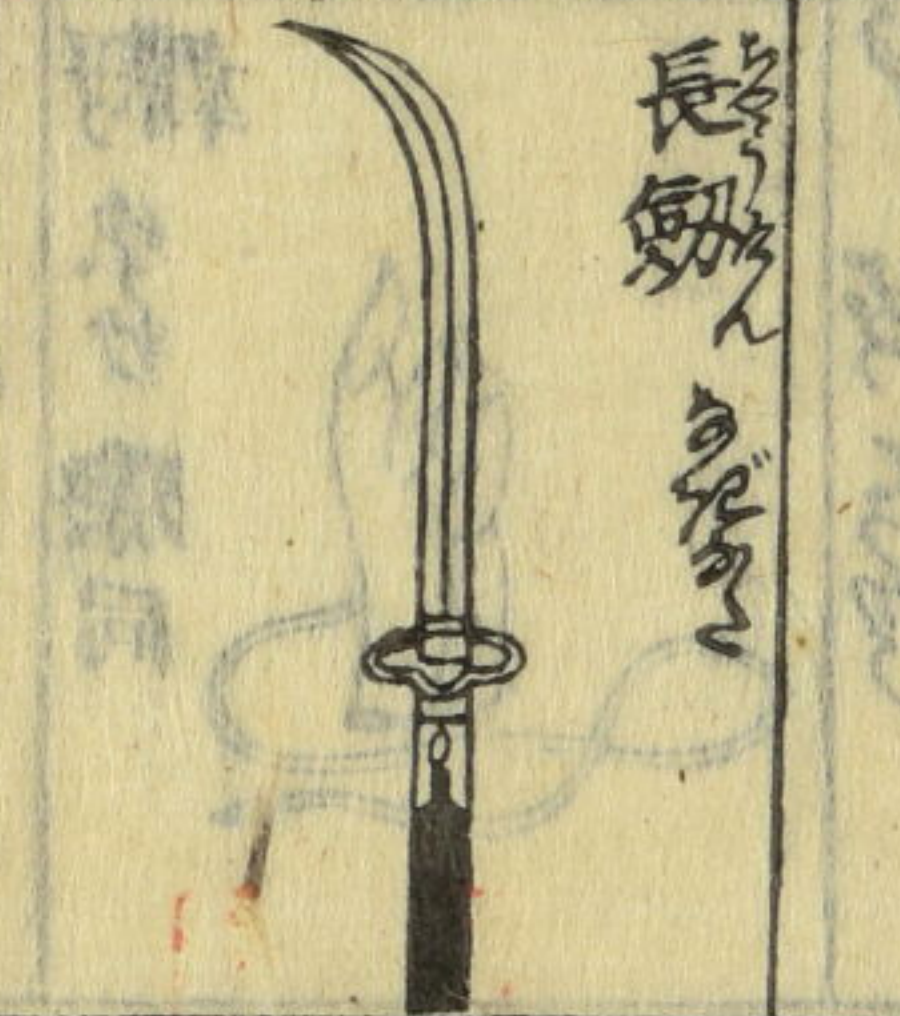
箠  
箠



柳ヤナギの皮かわは、  
足あしにはき、  
手てにはき、  
振ふるとよる



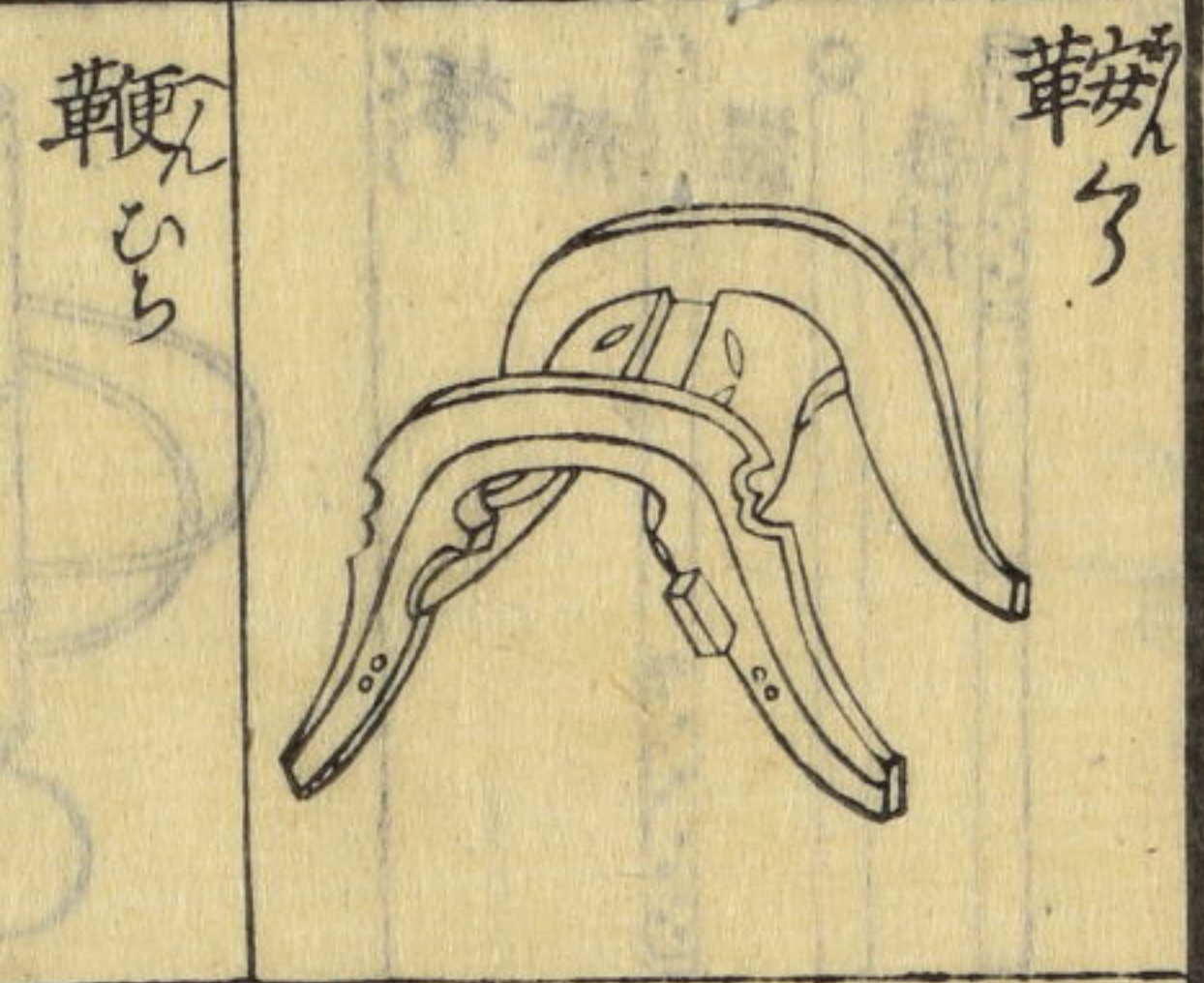
長なが劔けん、  
劔けんのかたは、  
劔けんのかたは、  
劔けんのかたは、  
劔けんのかたは、  
劔けんのかたは、



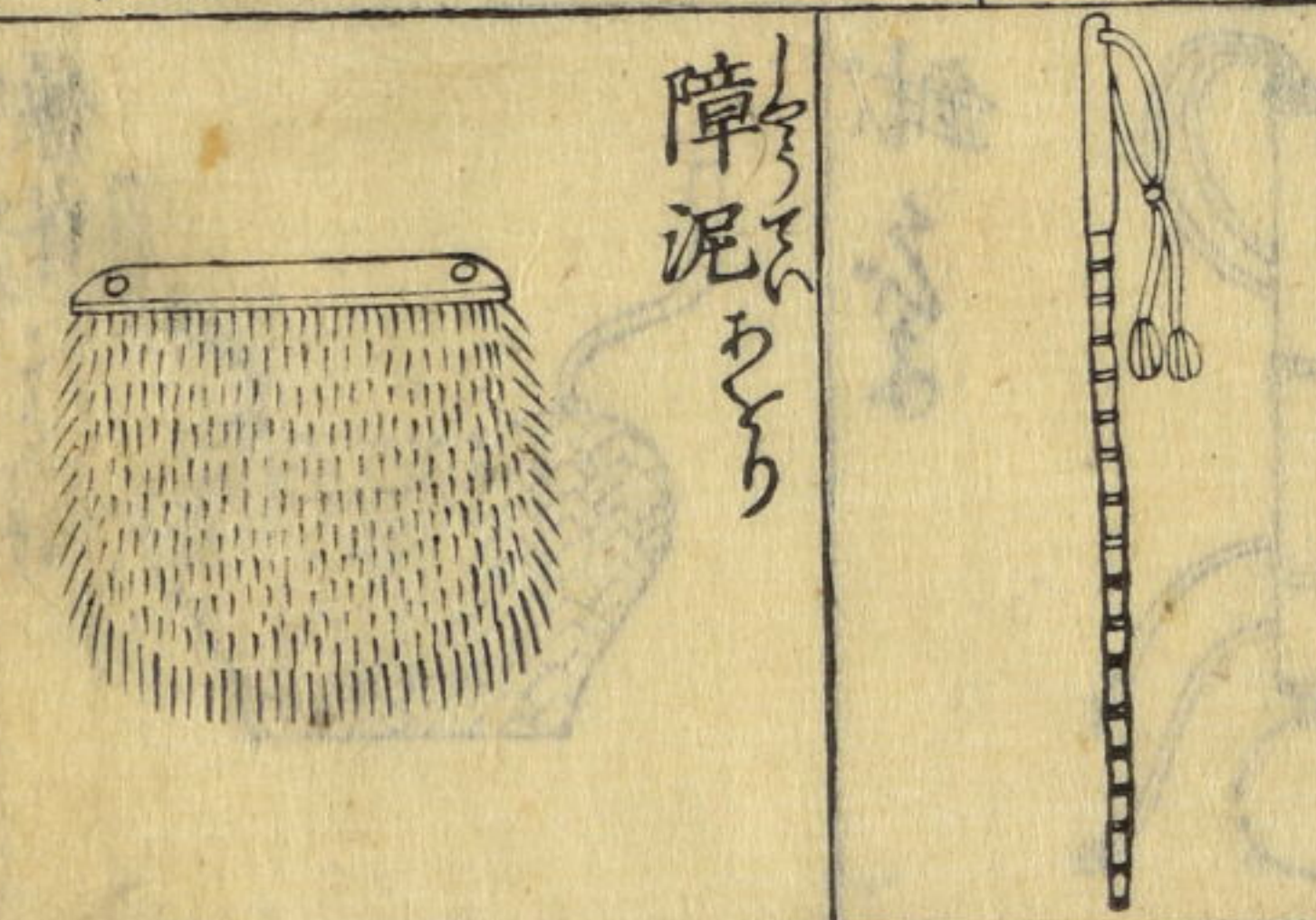
鋼こう又また、  
鋼こう又また、  
鋼こう又また、  
鋼こう又また、  
鋼こう又また、  
鋼こう又また、



鞆たもと同どう、  
鞆たもと同どう、  
鞆たもと同どう、  
鞆たもと同どう、  
鞆たもと同どう、  
鞆たもと同どう、



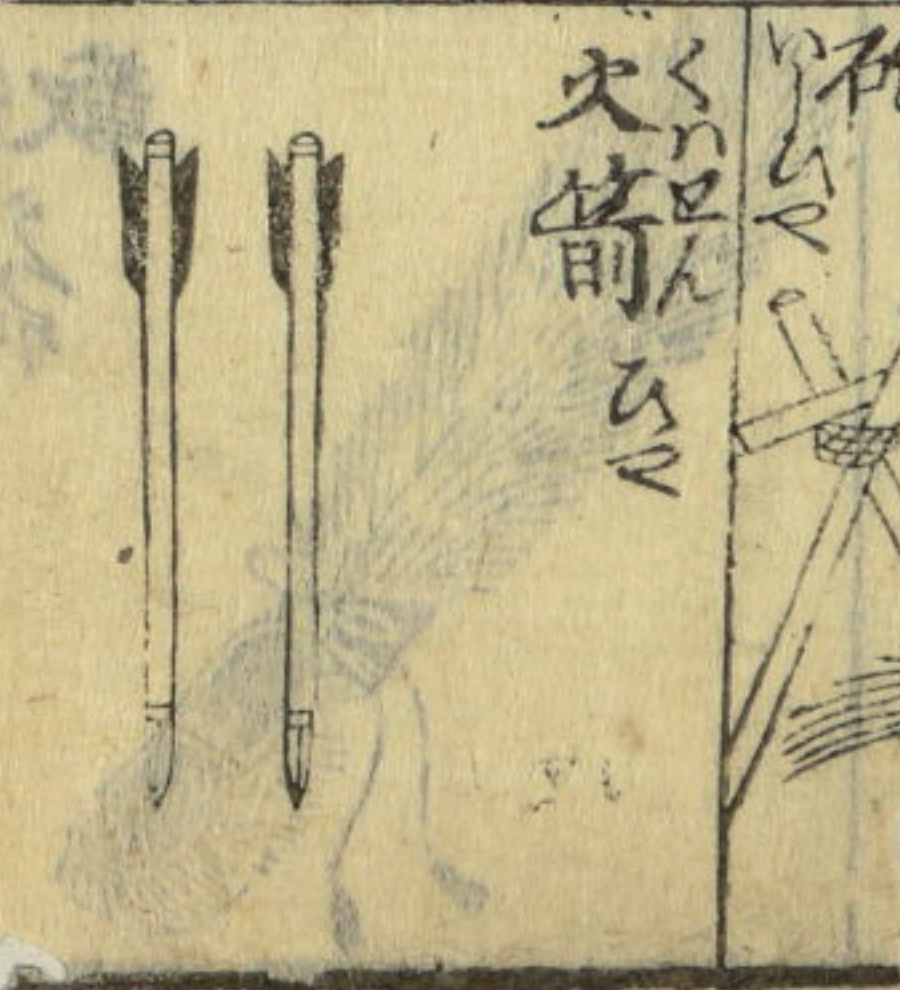
障しょう泥でい、  
障しょう泥でい、  
障しょう泥でい、  
障しょう泥でい、  
障しょう泥でい、  
障しょう泥でい、



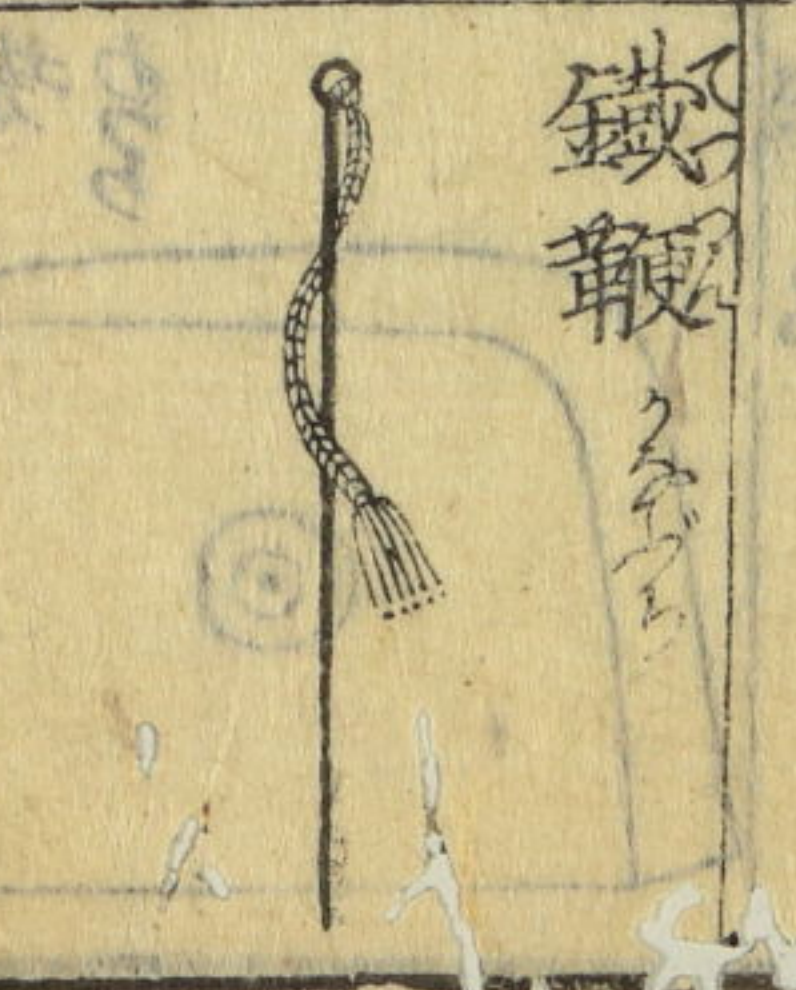
砲ぱうのかたは、  
砲ぱうのかたは、  
砲ぱうのかたは、  
砲ぱうのかたは、  
砲ぱうのかたは、  
砲ぱうのかたは、



火か箭せん、  
火か箭せん、  
火か箭せん、  
火か箭せん、  
火か箭せん、  
火か箭せん、



鐵てつ鞭べん、  
鐵てつ鞭べん、  
鐵てつ鞭べん、  
鐵てつ鞭べん、  
鐵てつ鞭べん、  
鐵てつ鞭べん、



燈とうハは、  
燈とうハは、  
燈とうハは、  
燈とうハは、  
燈とうハは、  
燈とうハは、



轡じゆん、  
轡じゆん、  
轡じゆん、  
轡じゆん、  
轡じゆん、  
轡じゆん、



鞆たもとのかたは、  
鞆たもとのかたは、  
鞆たもとのかたは、  
鞆たもとのかたは、  
鞆たもとのかたは、  
鞆たもとのかたは、



標脊の鐵のこ  
 鐵わくつら  
 鐵わくつら

鉗  
 鉗

○鉗 加らるる罪  
 人と禁獄の具  
 桔梗 三道具とらふ

棒  
 棒

○棍 棒あり  
 ○吾杖 今つら  
 切木棒あり

○発貢 西侯  
 南蛮の房西と  
 ありのこま

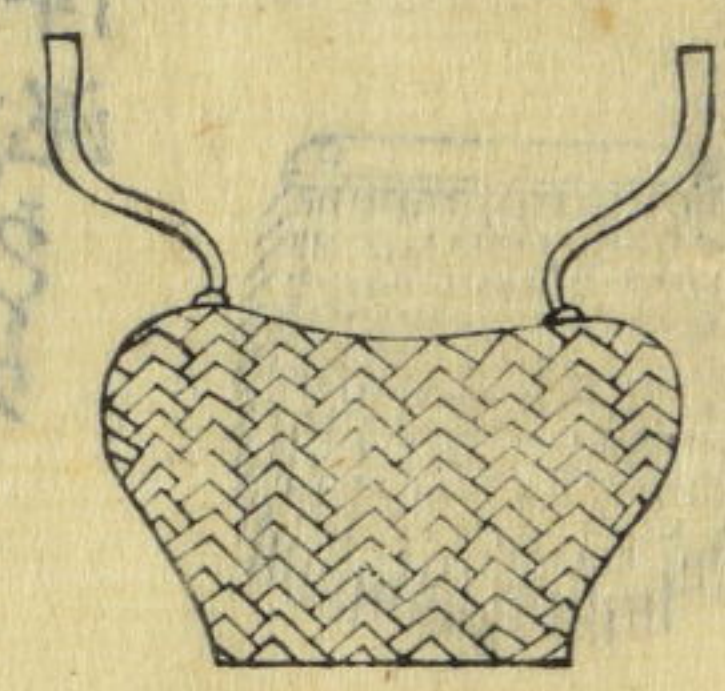
瓢石  
 瓢石

○瓢石 今つら  
 づんいん又磔  
 とを

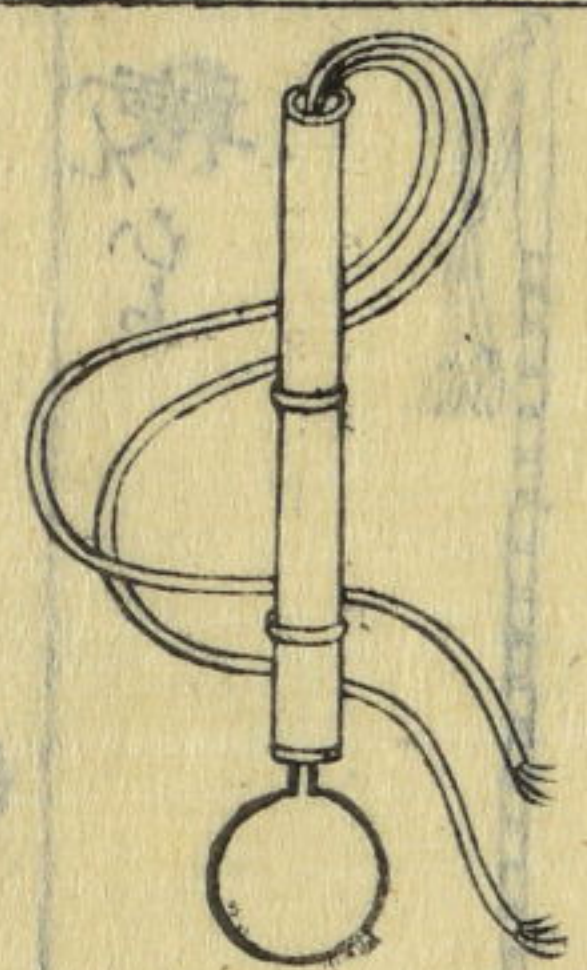
鹿砦  
 鹿砦

○鹿砦 棘木  
 地へて入るの  
 うのこさゆ  
 て軍に要事す

標脊の鐵のこ  
 鐵わくつら



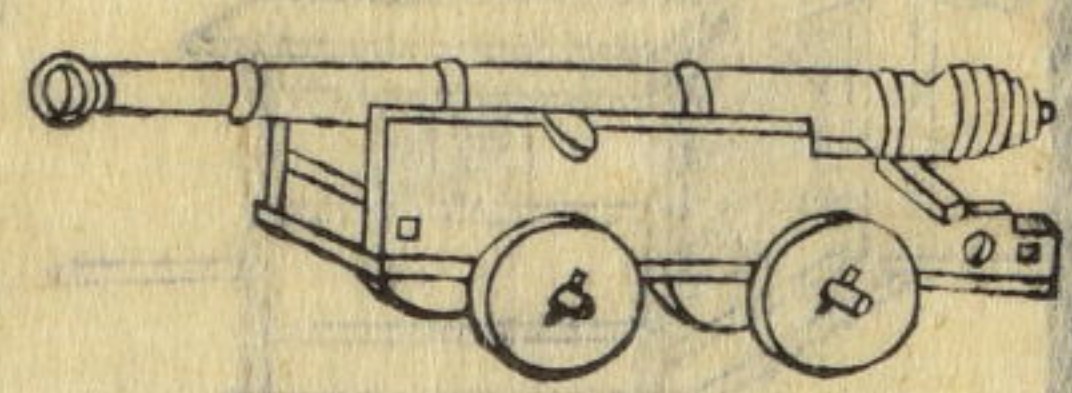
鉗  
 鉗



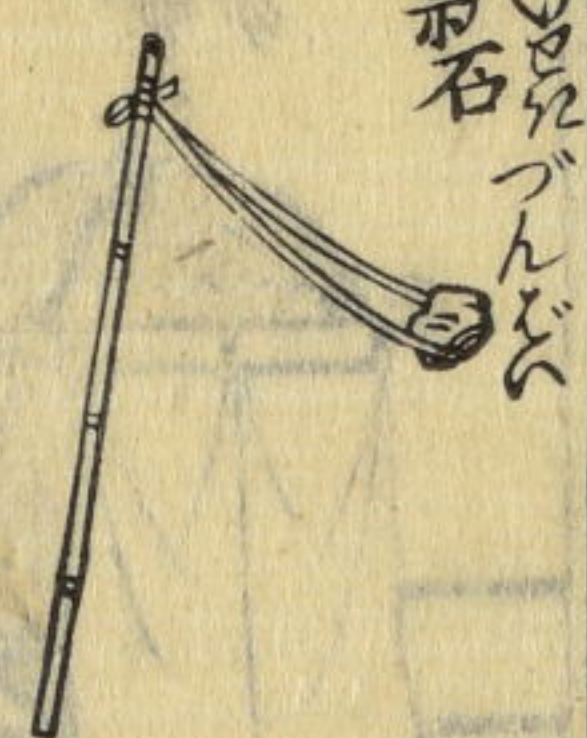
棒  
 棒



発貢  
 発貢



瓢石  
 瓢石



鹿砦  
 鹿砦

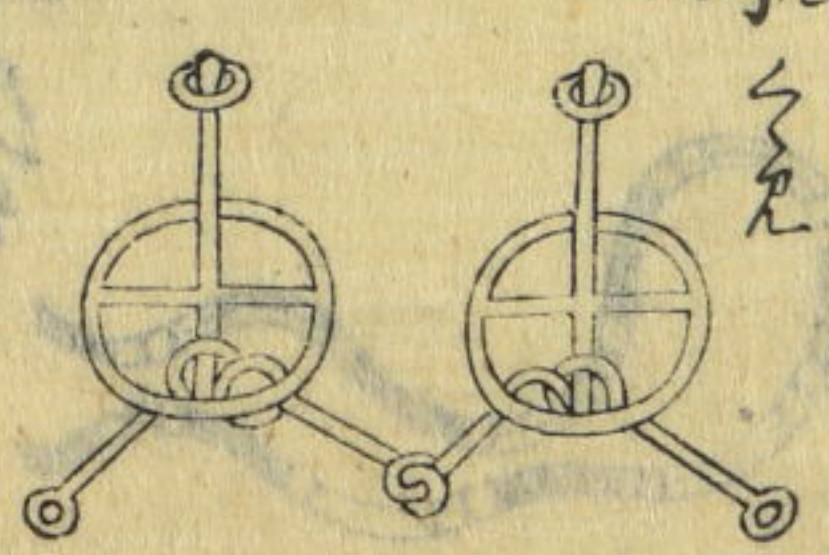


鞆の馬の尾乃  
 鞆同當胃腹帯

鞆  
 鞆



銜  
 銜



鑣  
 鑣



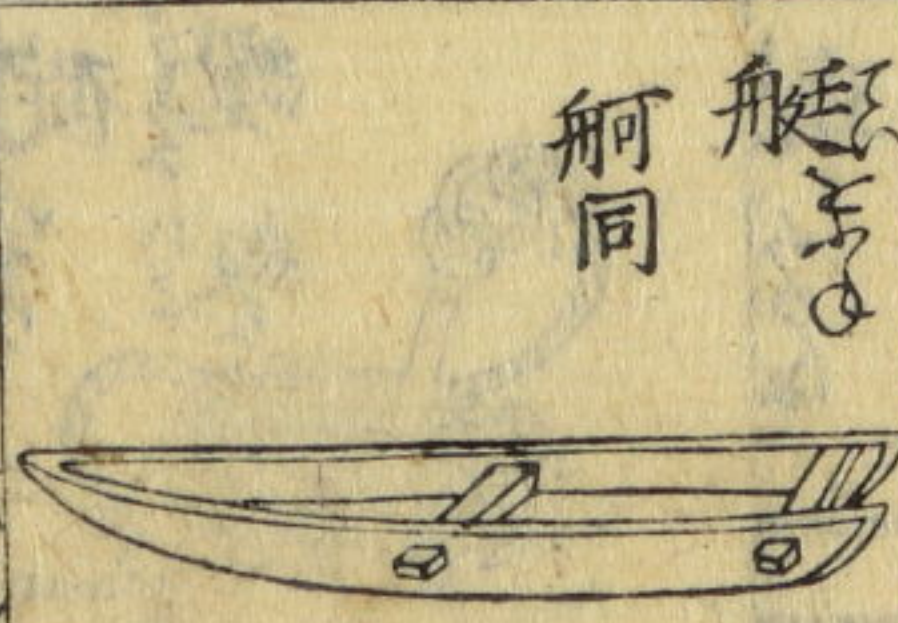
銜の馬の尾乃  
 馬鞍脚鐵あり  
 同馬口  
 りにわりの  
 鑣の馬の尾乃  
 鑣の馬の尾乃  
 鐵の馬の尾乃

○舟の黃帝の二  
 舟の鼓鼓貨物舟  
 つら又貨物舟  
 工にわりの

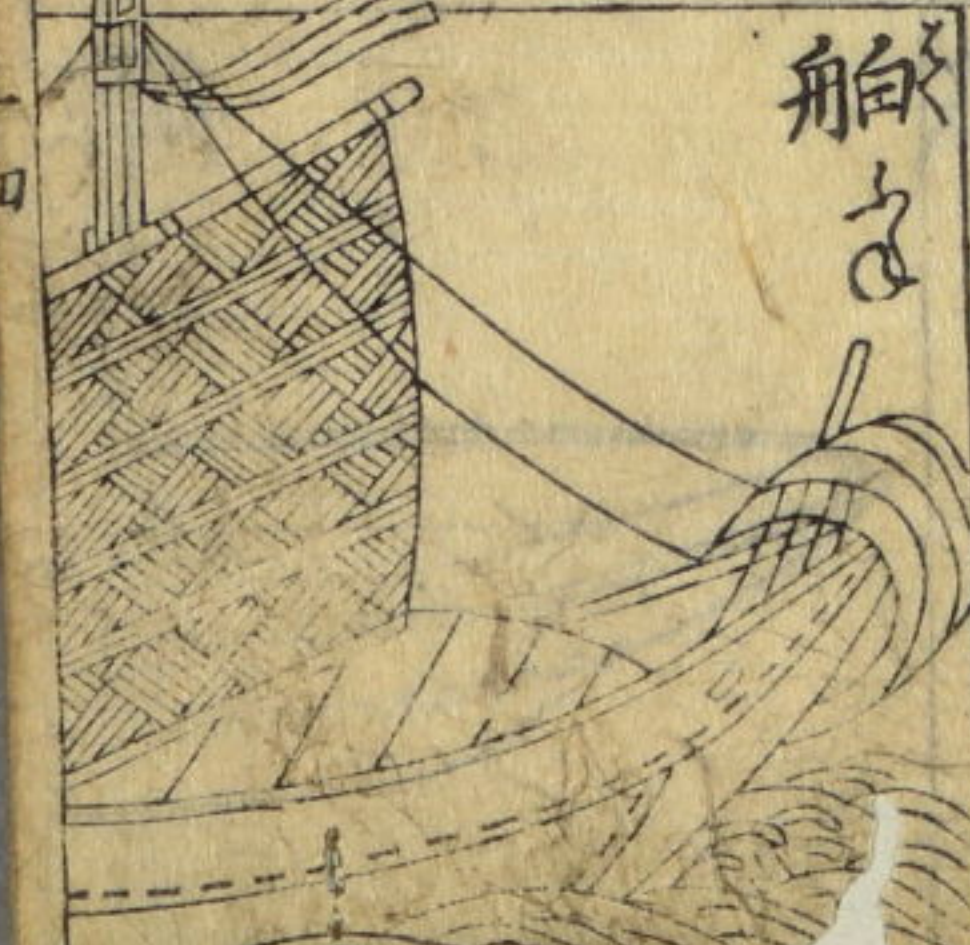
舟の  
 舟の



舟の  
 舟の



舟の  
 舟の



○舟の海中  
 舟の海中  
 舟の海中  
 舟の海中

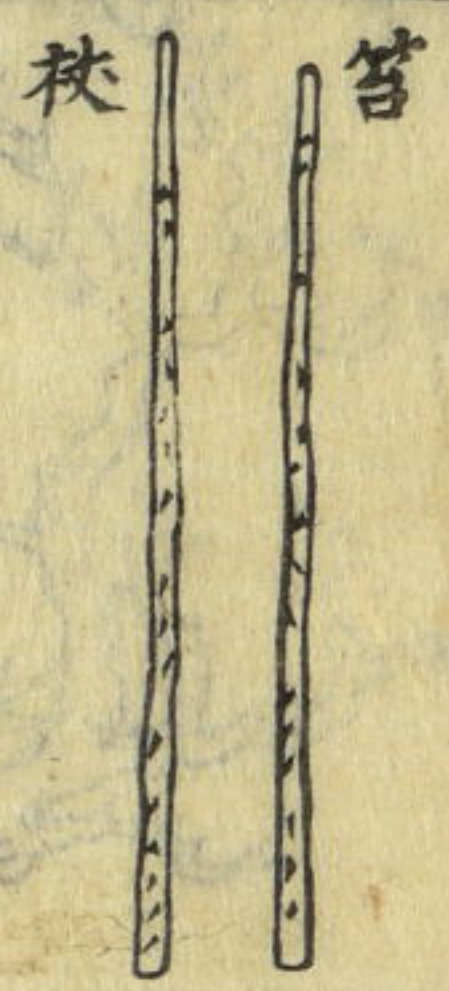
筥  
筥のありしあり  
杖につえあり

輦  
輦てらぬ

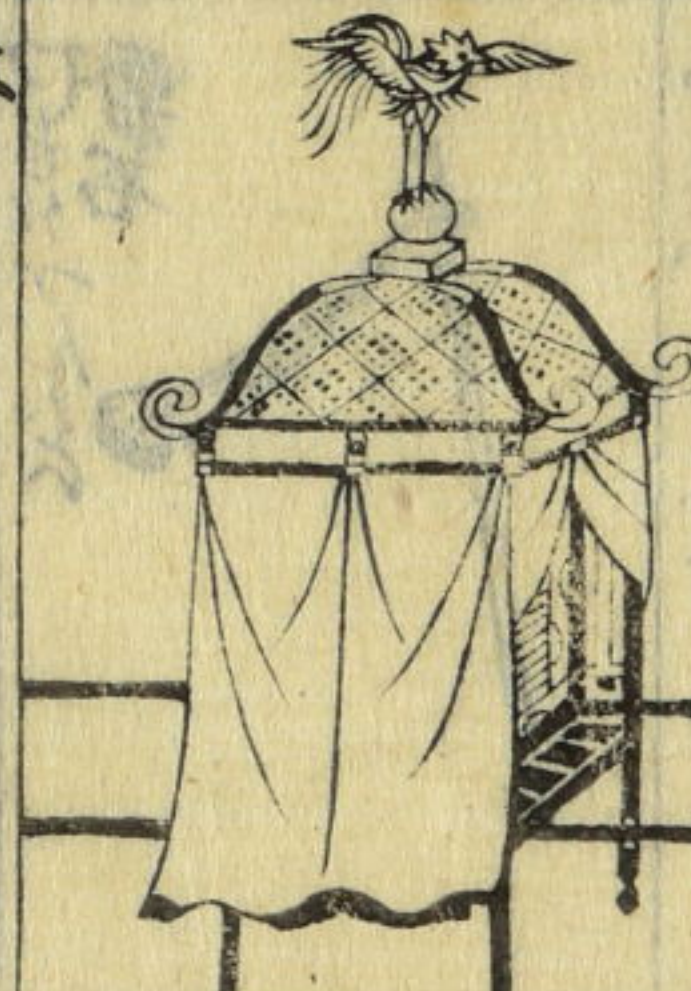
輦の天子乃  
のりあり御輦  
御輦とも王輦  
ともつゝ又厚輦  
ともつゝ

輿  
輿

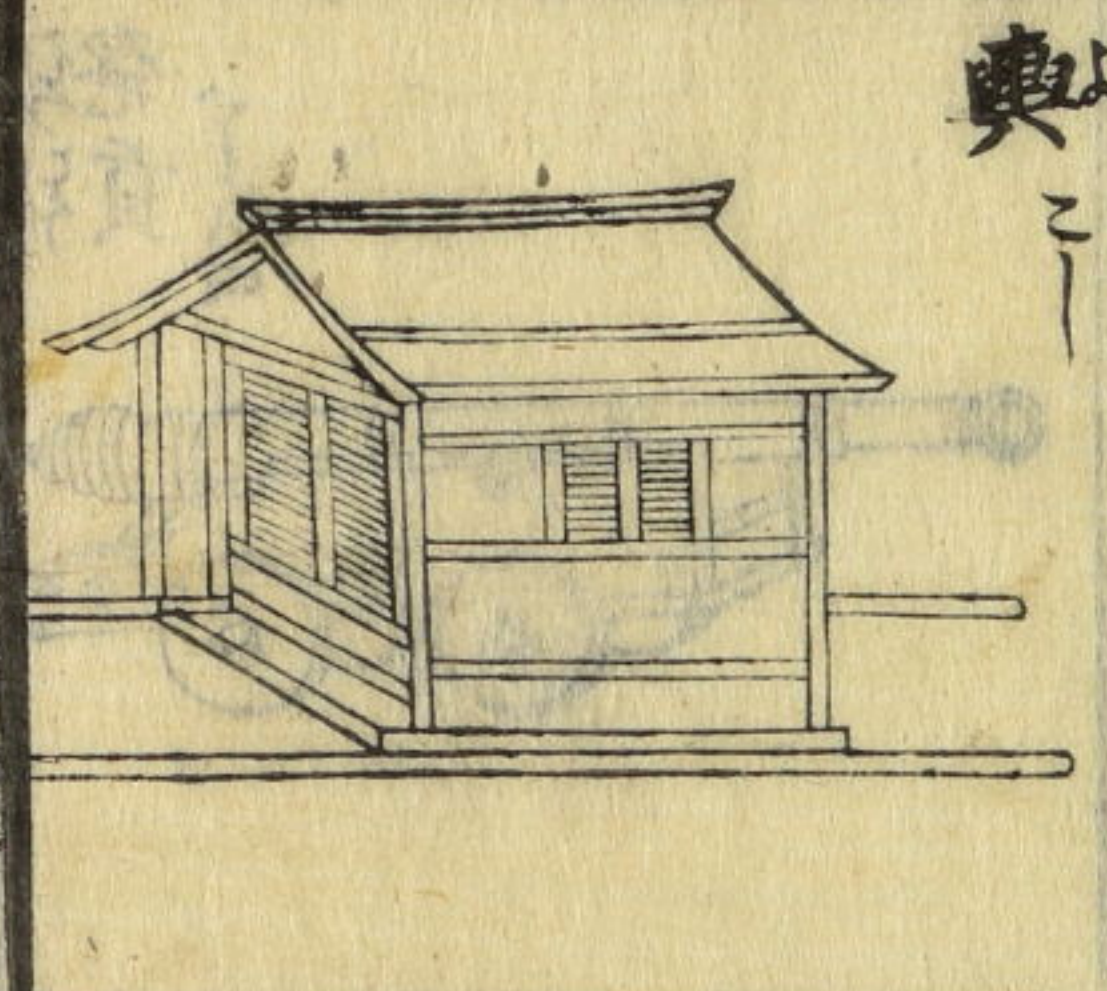
輿のいふ輿  
肩の口くく  
輿のいふ輿  
わらわらと作輿  
とも今つゝこ



輦  
輦てらぬ



輿  
輿



船  
船

船も小船あり  
ひらき舟あり  
うて舟あり  
船といふ後た色

碇  
碇

碇の船を鎮  
ふるありしり  
碇同いふる  
車

車  
車

車は少昊の時  
牛を駕し馬  
と馬を駕る  
今圖より  
天子御あり  
のりあり車

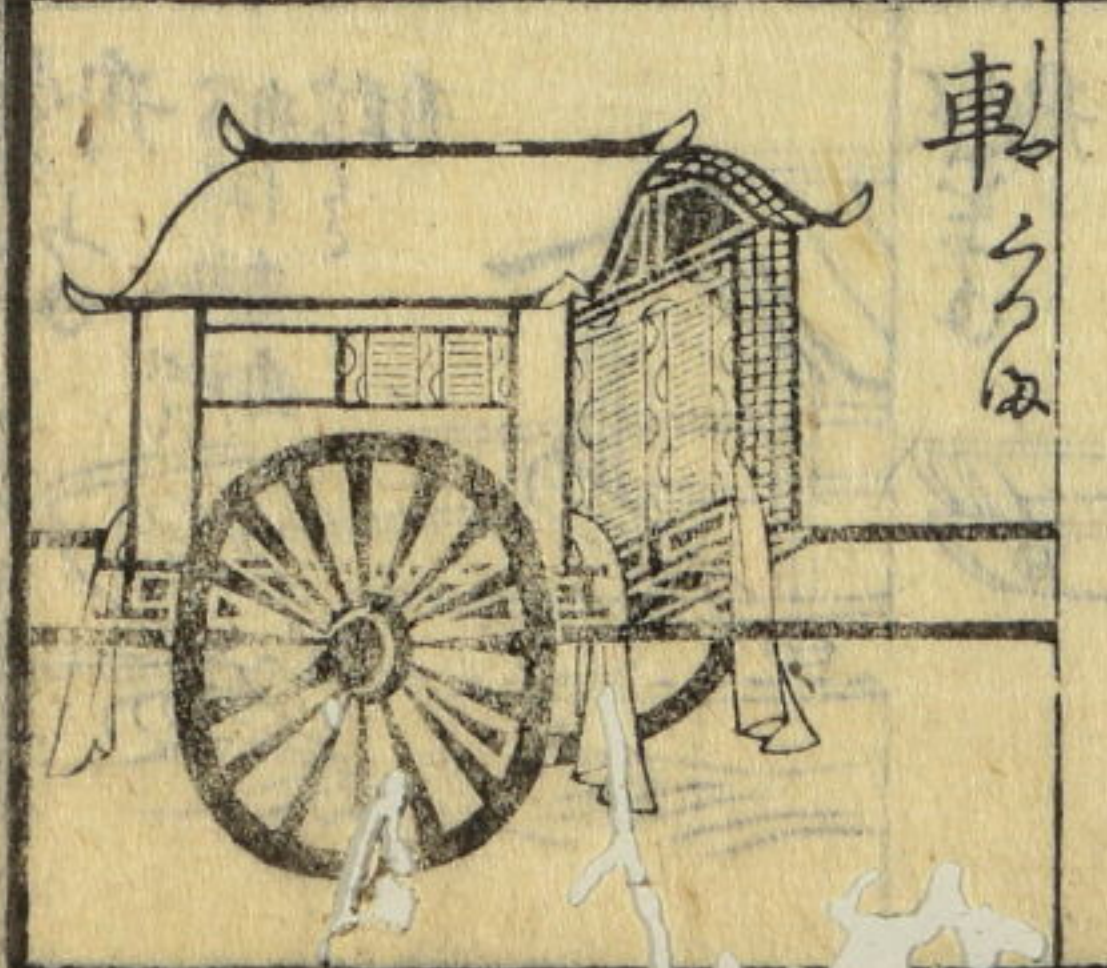
船  
船



碇  
碇



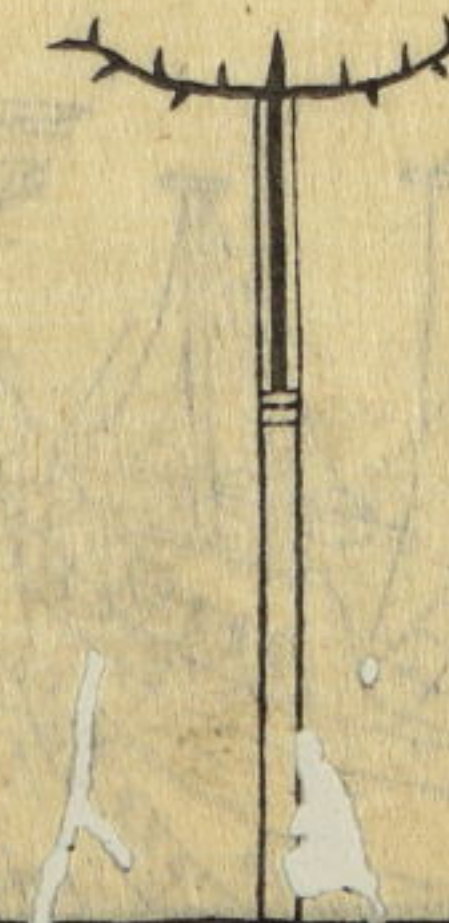
車  
車



鐵把  
鐵把

鐵把の鉄棒  
鐵把同

鐵把  
鐵把



野航  
野航

野航の小船  
野航同

帆  
帆

帆の船上の幔  
あり舟あり  
帆といふる  
帆といふる

帆  
帆



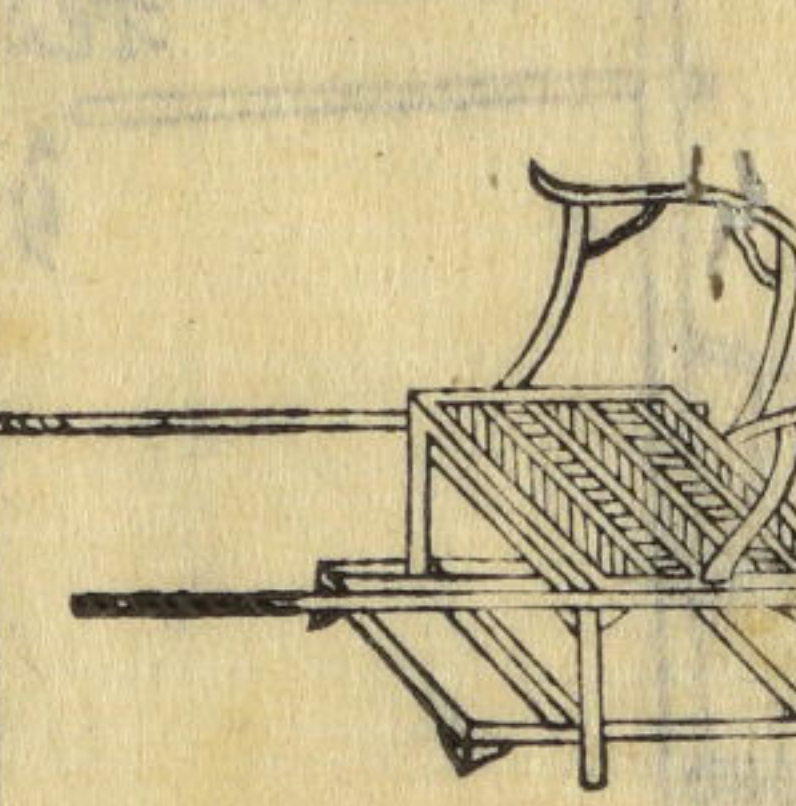
素  
素

素の糸の  
素の糸の  
素の糸の  
素の糸の

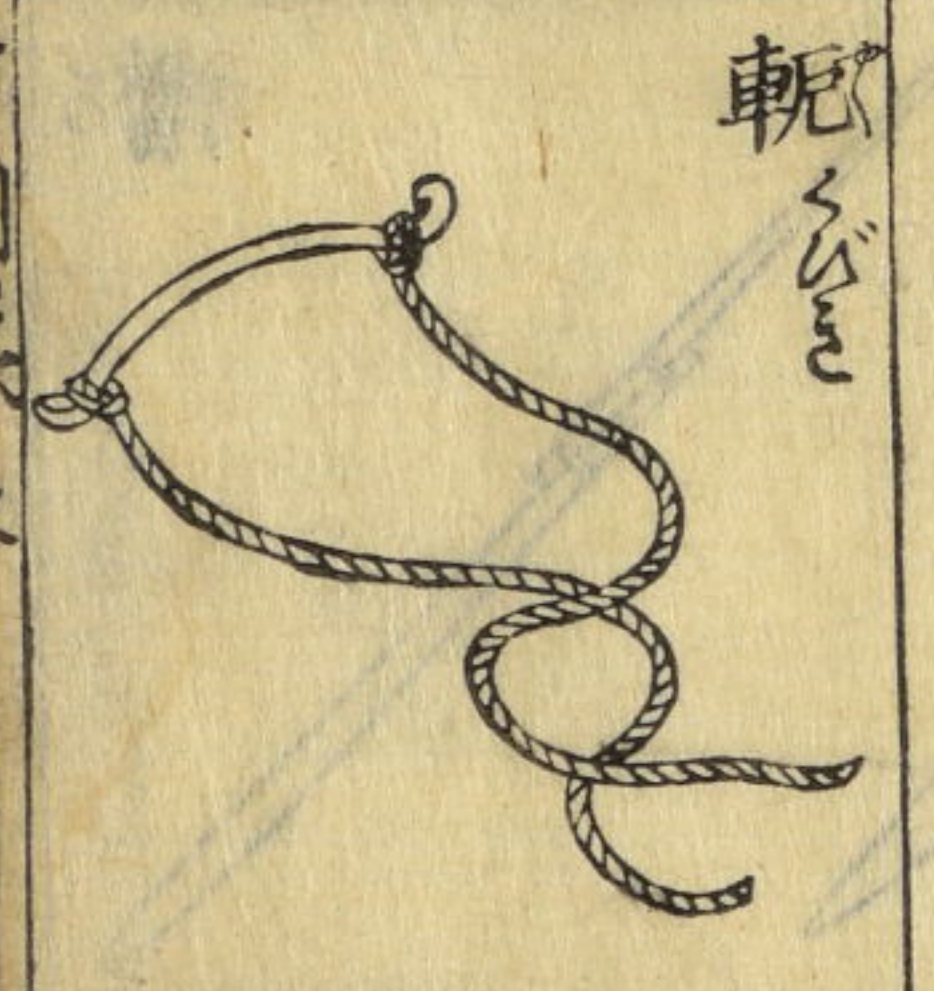
輦  
輦

輦の牛の  
輦の牛の  
輦の牛の  
輦の牛の

輦  
輦



輦  
輦

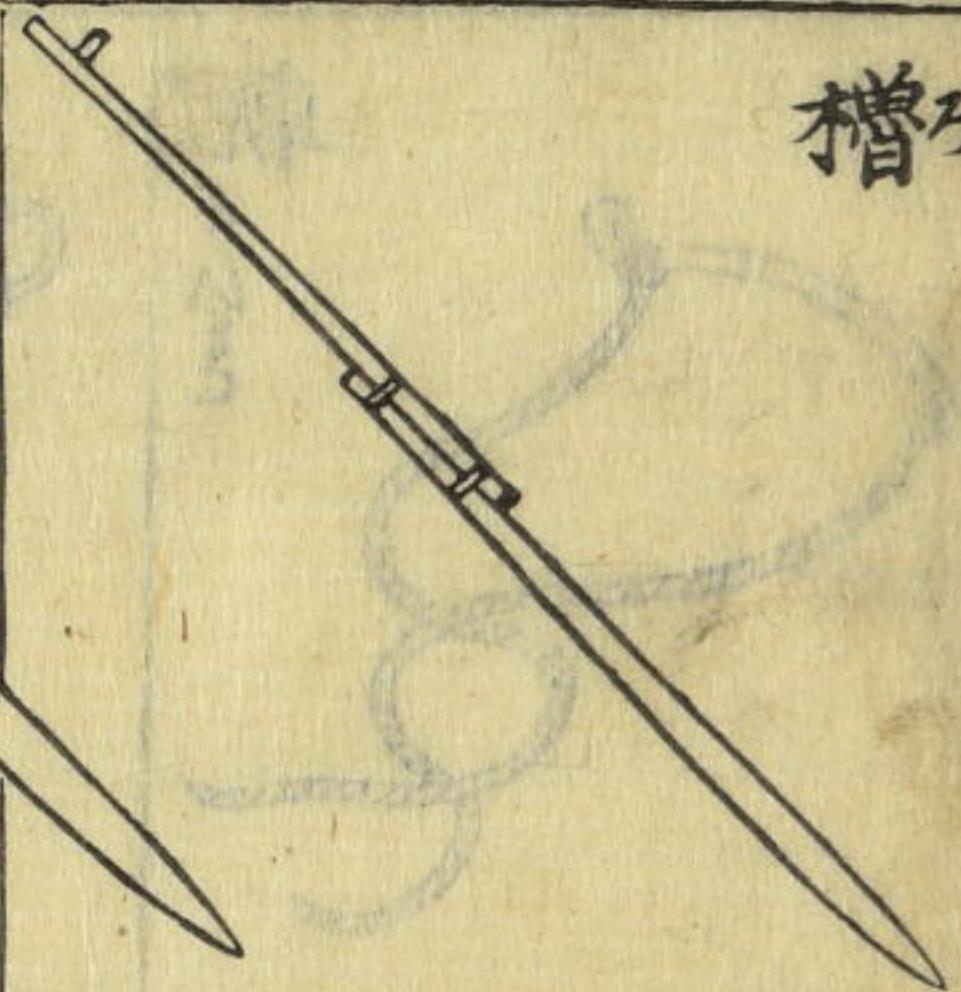




槽

○槽ハ縦子用と  
槽ハ横子用  
と漿とらふり  
舟具多り

槽



檣

○檣ハ船とちか  
まり篙同

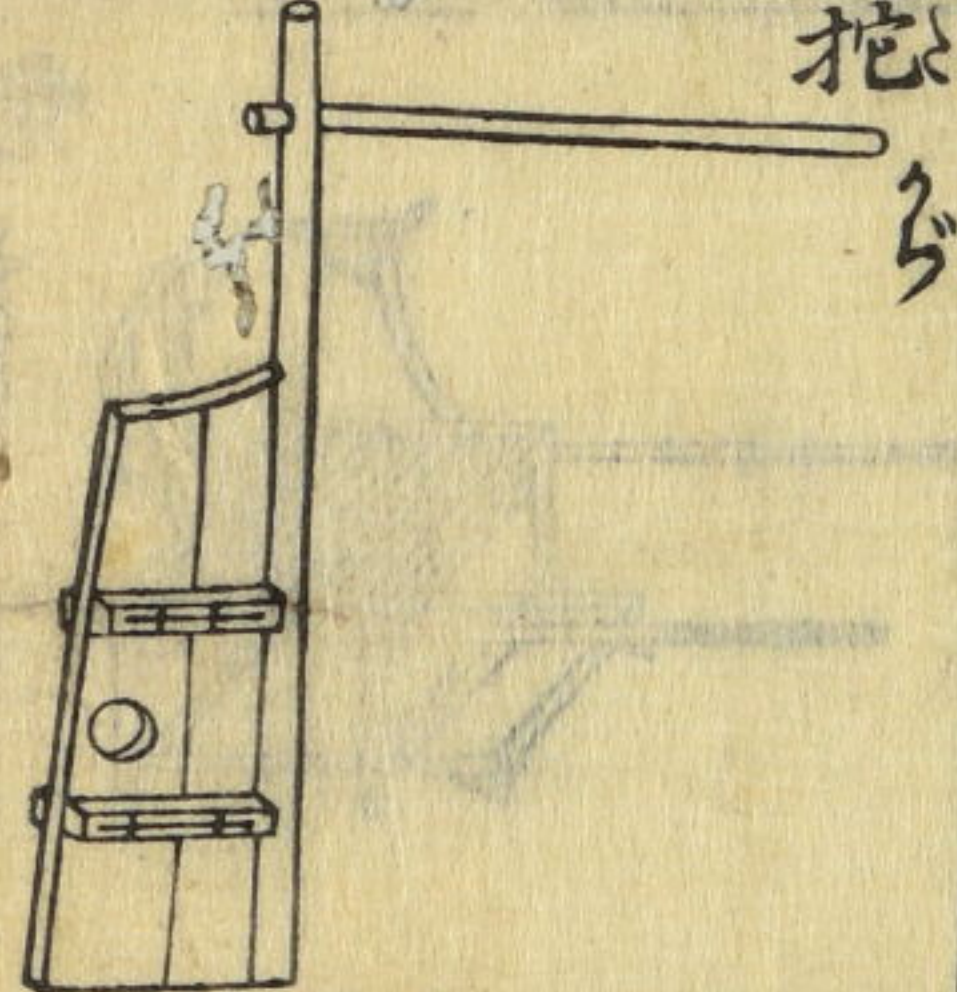
檣



舵

○舵ハ船のうら  
施舵ハ推  
をもつべし

舵



篷

○籬ハ竹を織り  
箬を綴り船を  
かひのこりあり

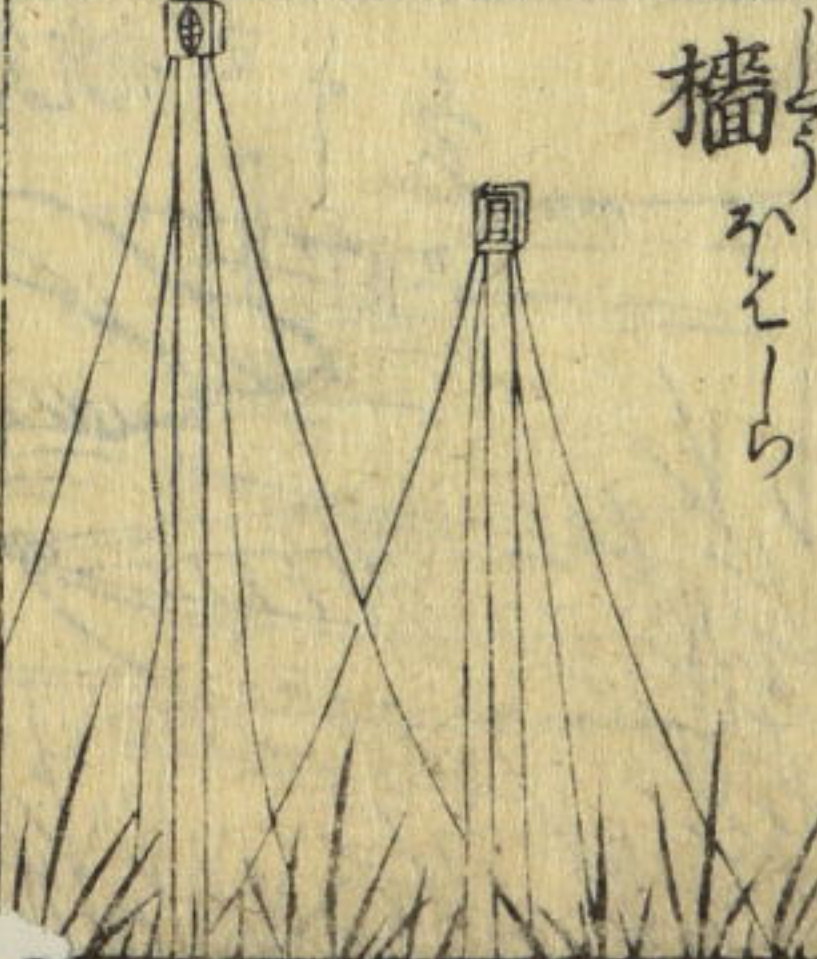
篷



檣

○檣ハ極短竿  
より同かちり

檣



番舶

○番舶ハ南蛮  
舟あり

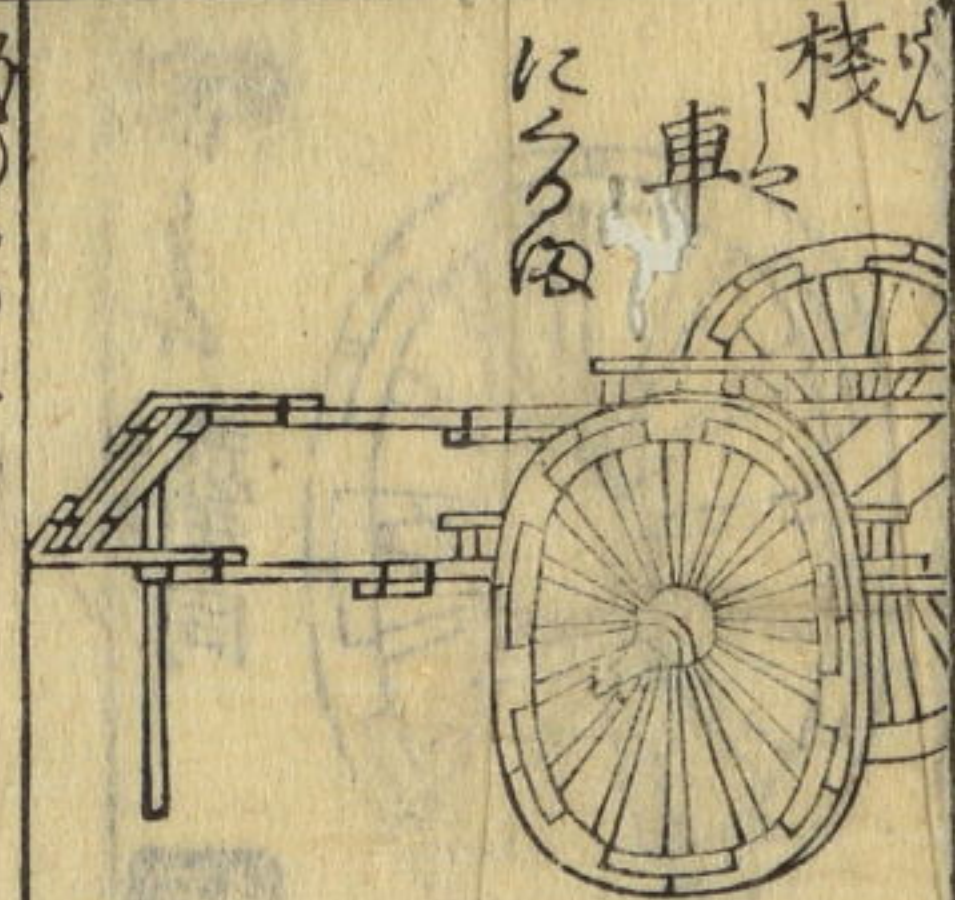
番舶



棧車

○棧車ハ今ハ  
に車あり役車  
と車あり

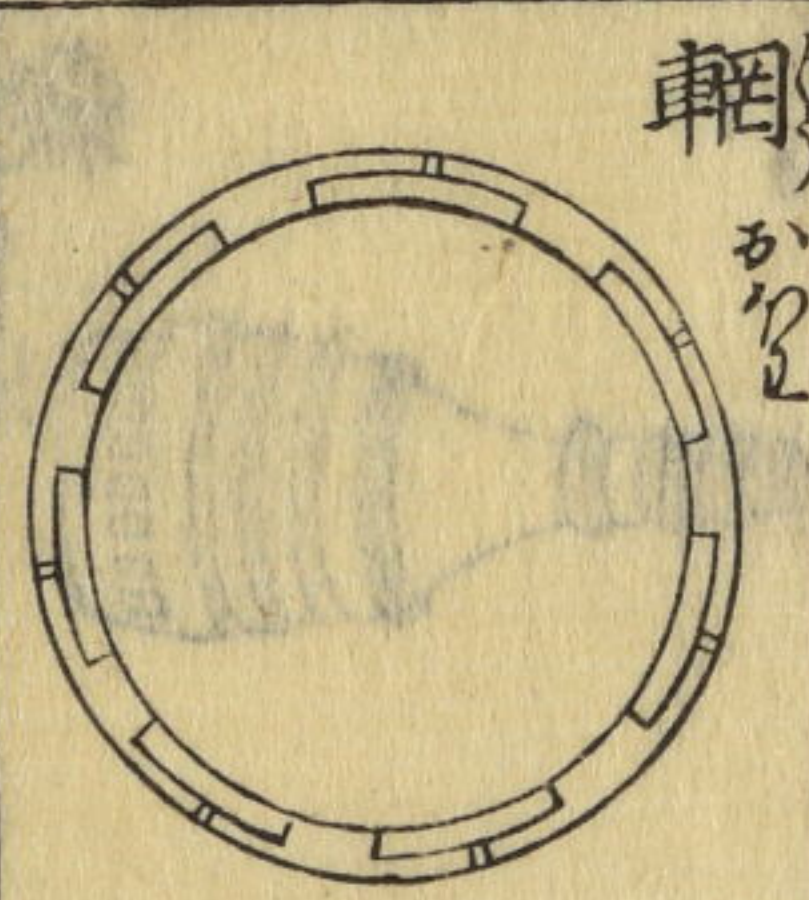
棧車



輜

○輜ハ車ハ輪の  
外ハのど見え大  
輪あり輜牙と

輜



輦

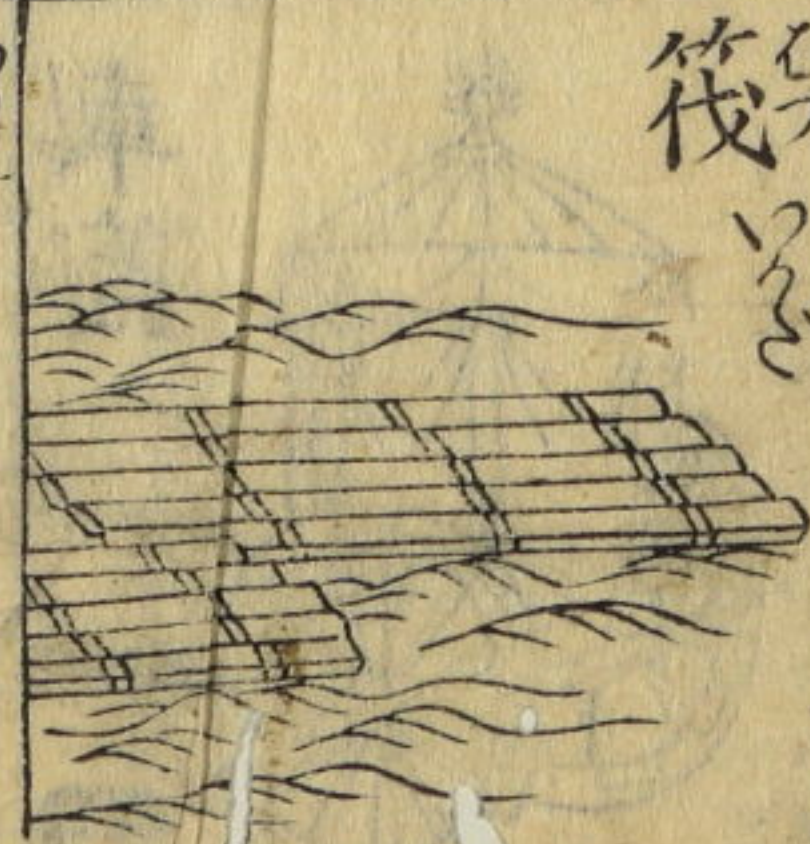
○輦ハ車ハの  
曲り木とあり  
輦同

輦



○筏ハ竹を編み  
水とさるりのあり  
木と箆と云竹と  
筏とあり又呼同

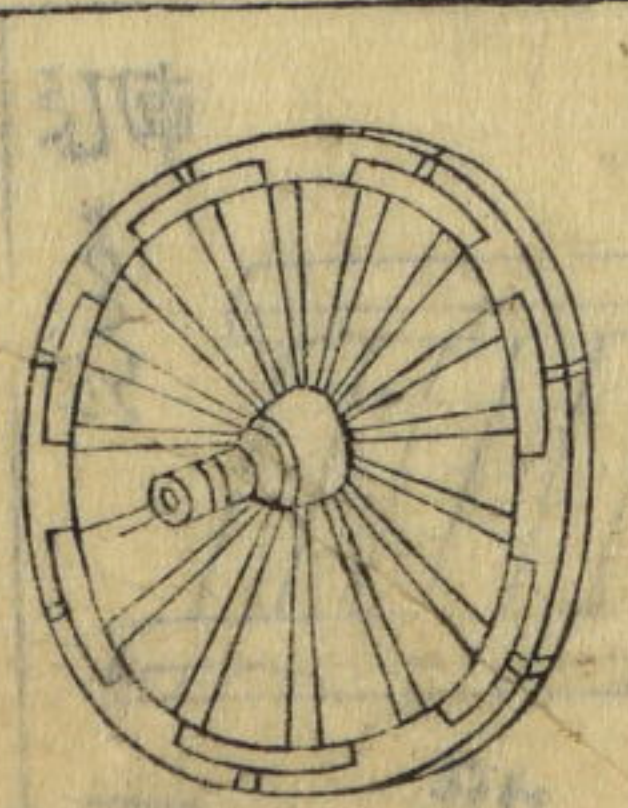
筏



輪

○輪ハ車輪ハ古の  
聖人輦蓬をん  
て車とつくる

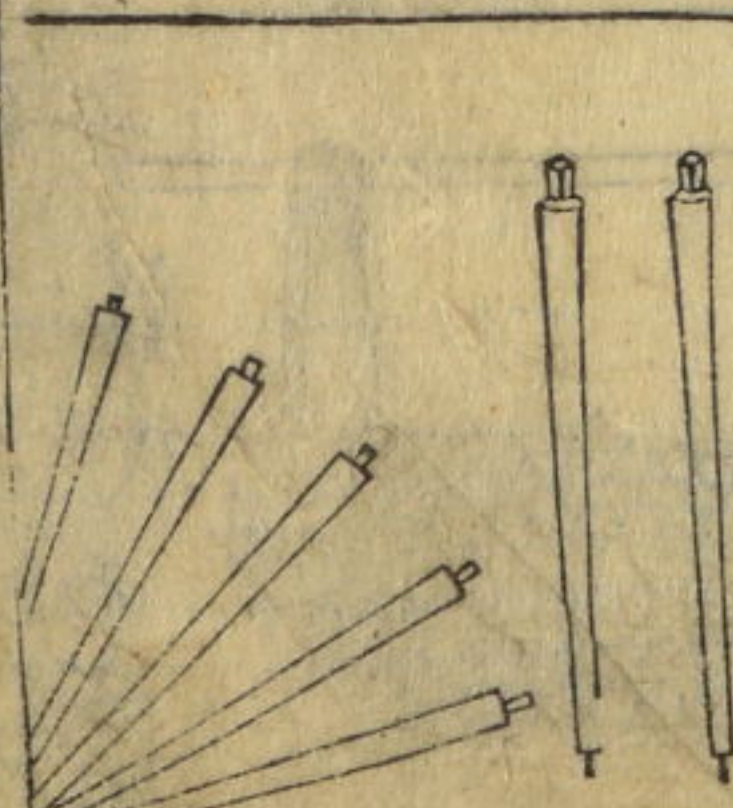
輪



輻

○輻ハ輦ハ  
三十のふあり

輻



軸 こしえ

○軸の車輪と  
りつをりあり  
轄いんさふ

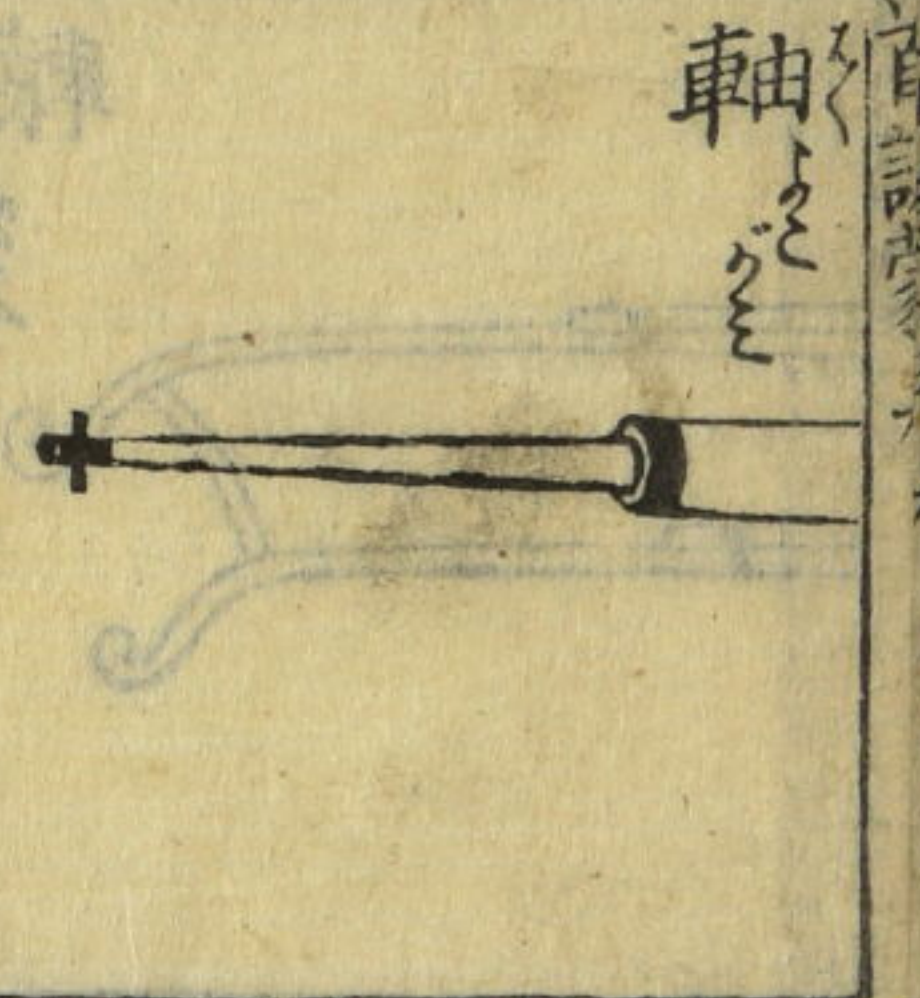
轂 こしえ

○轂の輻の漆の  
轂口の鋳とい  
釘といふ

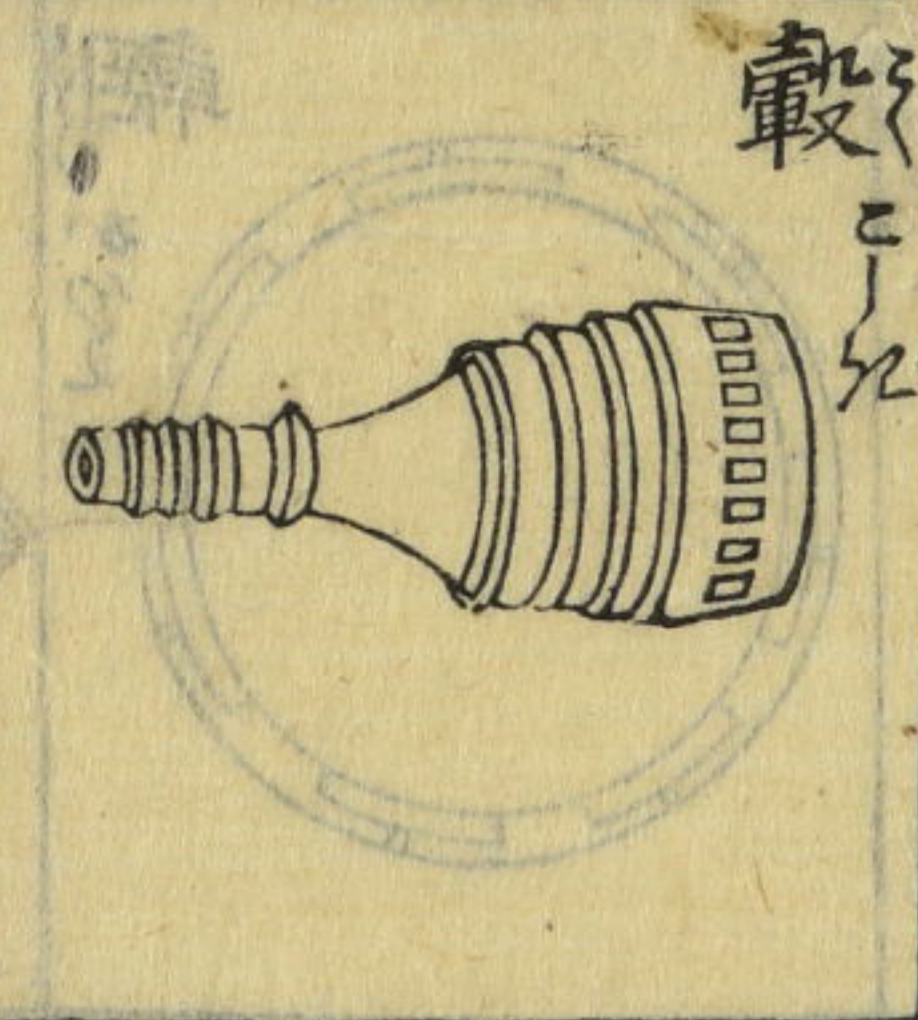
轄 こしえ

轄ハ車の轆子  
わつとろあり三  
指の轆子ハ車  
以三寸轄とい  
語教子といふ

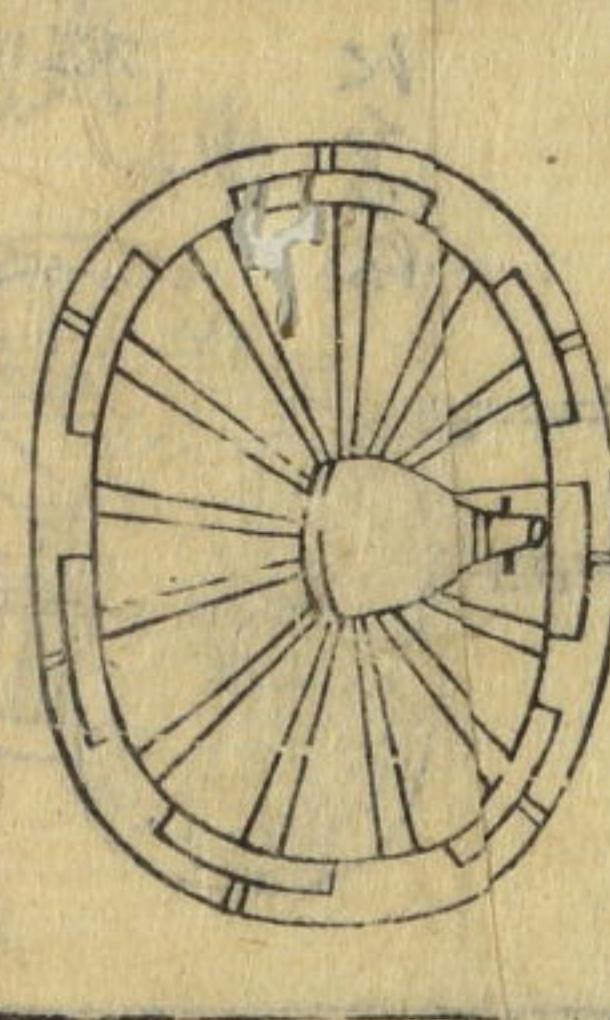
軸 こしえ



轂 こしえ



轄 こしえ 華同



補

籃輿

○籃輿の今ま  
わんごあまご  
復輿作輿同

輓 こしえ

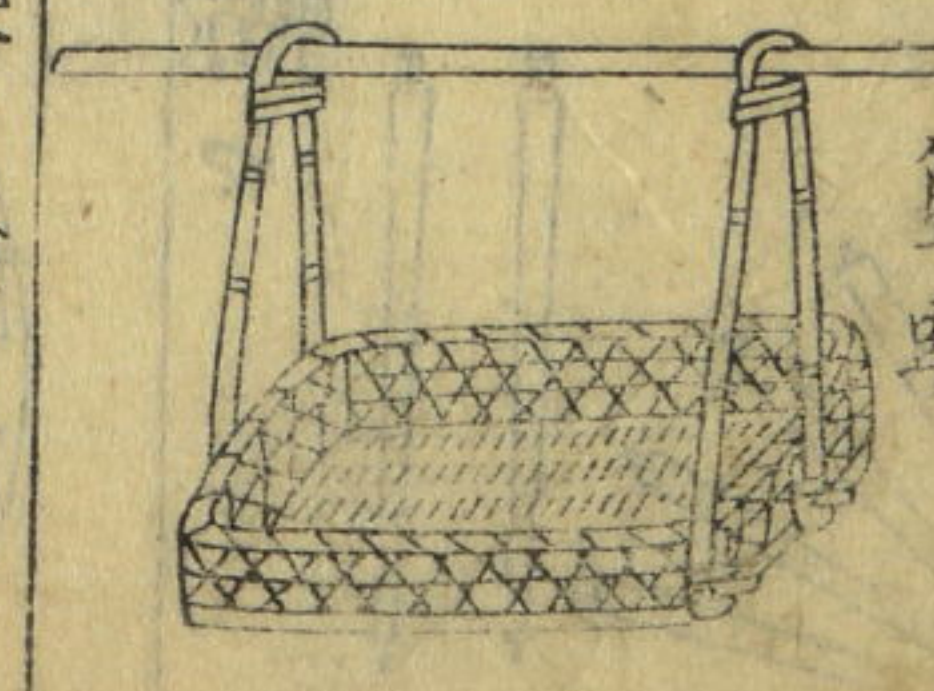
輓ハらぬのよ  
おかり

五

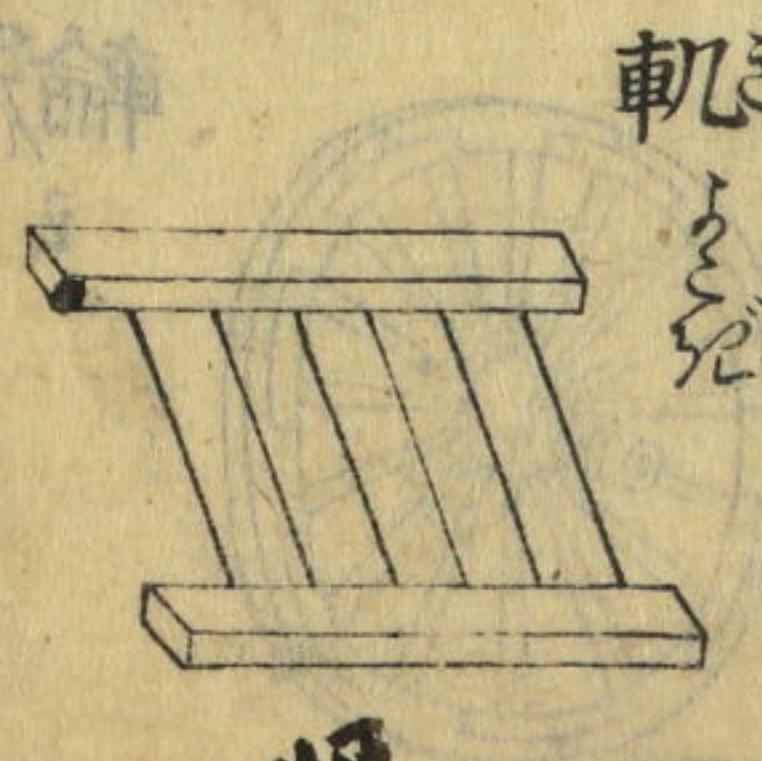
車蓋

車蓋ハ車のま  
かり華同一子  
黄屋といふ蓋  
いんさふあり

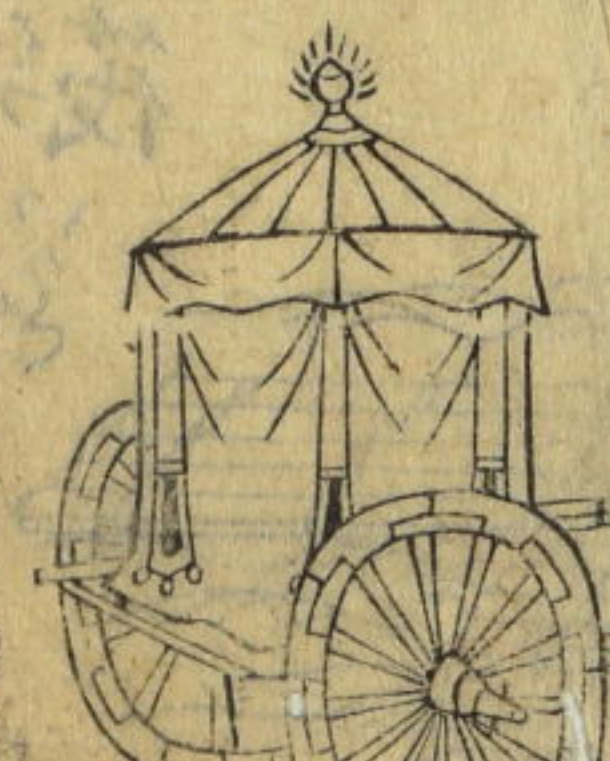
籃輿 わんご



輓 こしえ



車蓋



補

終

平野村

今井太郎

